首都圏中央連絡自動車道
下総ＩＣ～大栄ＪＣＴ間遮音壁工事

設計図

令和　８年　９月

東日本高速道路株式会社　関東支社
つくば工事事務所

図　面　目　録

図面番号	図　　面　　名　　称	枚数
1	位置図(1)_全体図	1
2	位置図(2)_沼田地区土取場・土砂仮置場	1
3	位置図(3)_つくばＪＣＴ資材置場	1
4	位置図(4)_富里ＩＣ資材置場	1
5	数量総括表	1
6	土工平面図	1
7	遮音壁平面図	1
8 ～ 10	遮音壁割付図(1)～(3)	3
11	遮音壁数量総括表	1
12	遮音壁構造図(1)_橋梁部	1
13	遮音壁構造図(2)_伸縮部	1
14	遮音壁構造図(3)_支柱落下防止装置	1
15	遮音壁構造図(4)_土工部	1
16 ～ 17	遮音壁構造図(5)～(6)_切替部	2
18 ～ 19	土留板詳細図(1)～(2)_盛土斜面部用	2
20	撤去工平面図	1
21	撤去工詳細図_落下物防止柵	1
22	復旧工・落下物防止柵平面図	1
23	落下物防止柵詳細図	1
24	試掘工A平面図	1
25	交通保安要員配置図	1
26	固定規制A、交通安全施設工A平面図	1
27	固定規制A詳細図	1
28	交通安全施設工A詳細図	1
29 ～ 31	規制標識設置平面図(1)～(3)	3
32	交通規制図	1

図面番号	図　　面　　名　　称	枚数

位 置 図（1）
全 体 図

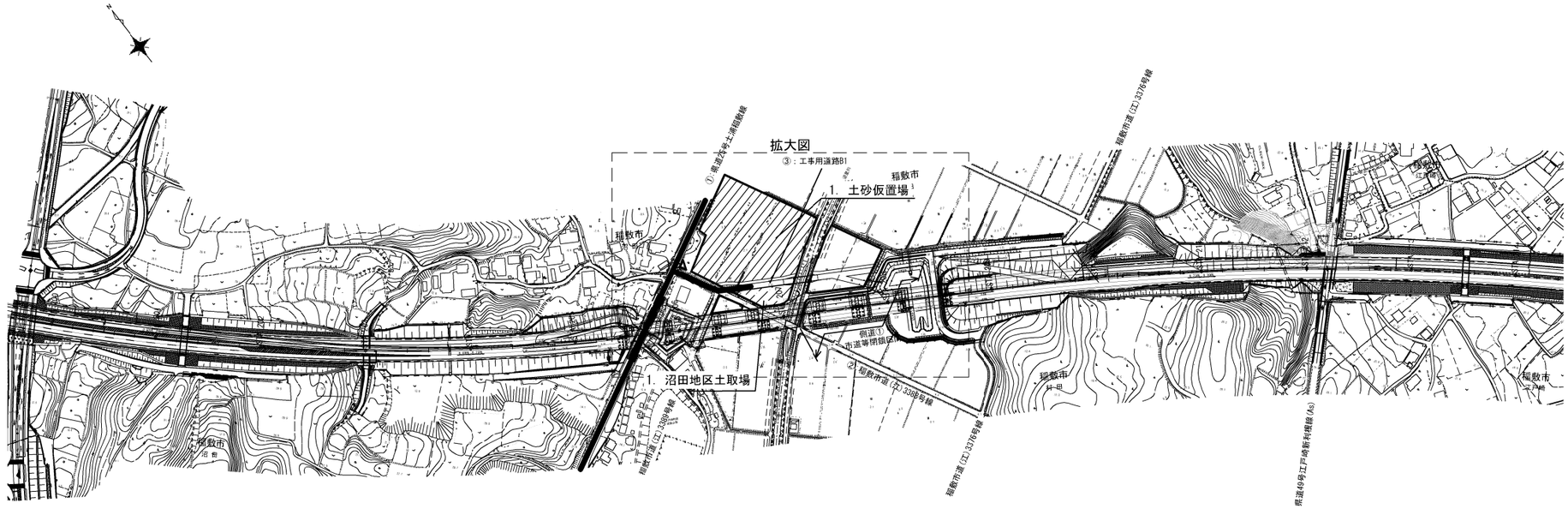


地理院地図（国土地理院）（https://maps.gsi.go.jp/）をもとに、東日本高速道路（株）が加工

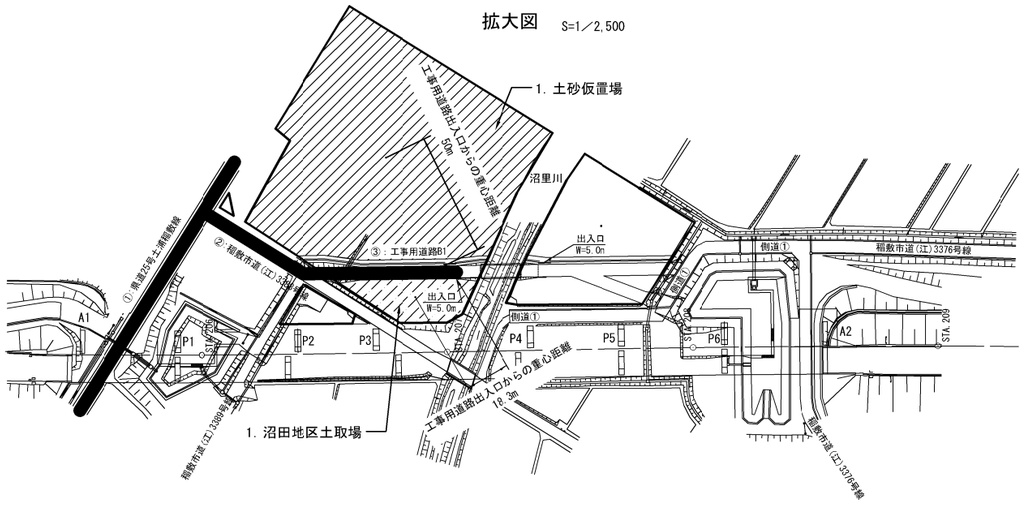
首都圏中央連絡自動車道 下総ＩＣ～大栄ＪＣＴ間遮音壁工事			
図面の種類	位 置 図（1） 全 体 図		
縮　尺	—	図面番号	1／32
設計会社名			
施工会社名			
事務所名	東日本高速道路株式会社　関東支社 つ く ば 工 事 事 務 所		

位 置 図（2） S=1:5000
沼 田 地 区 土 取 場 ・ 土 砂 仮 置 場

至　稲敷ＩＣ



至　稲敷東ＩＣ



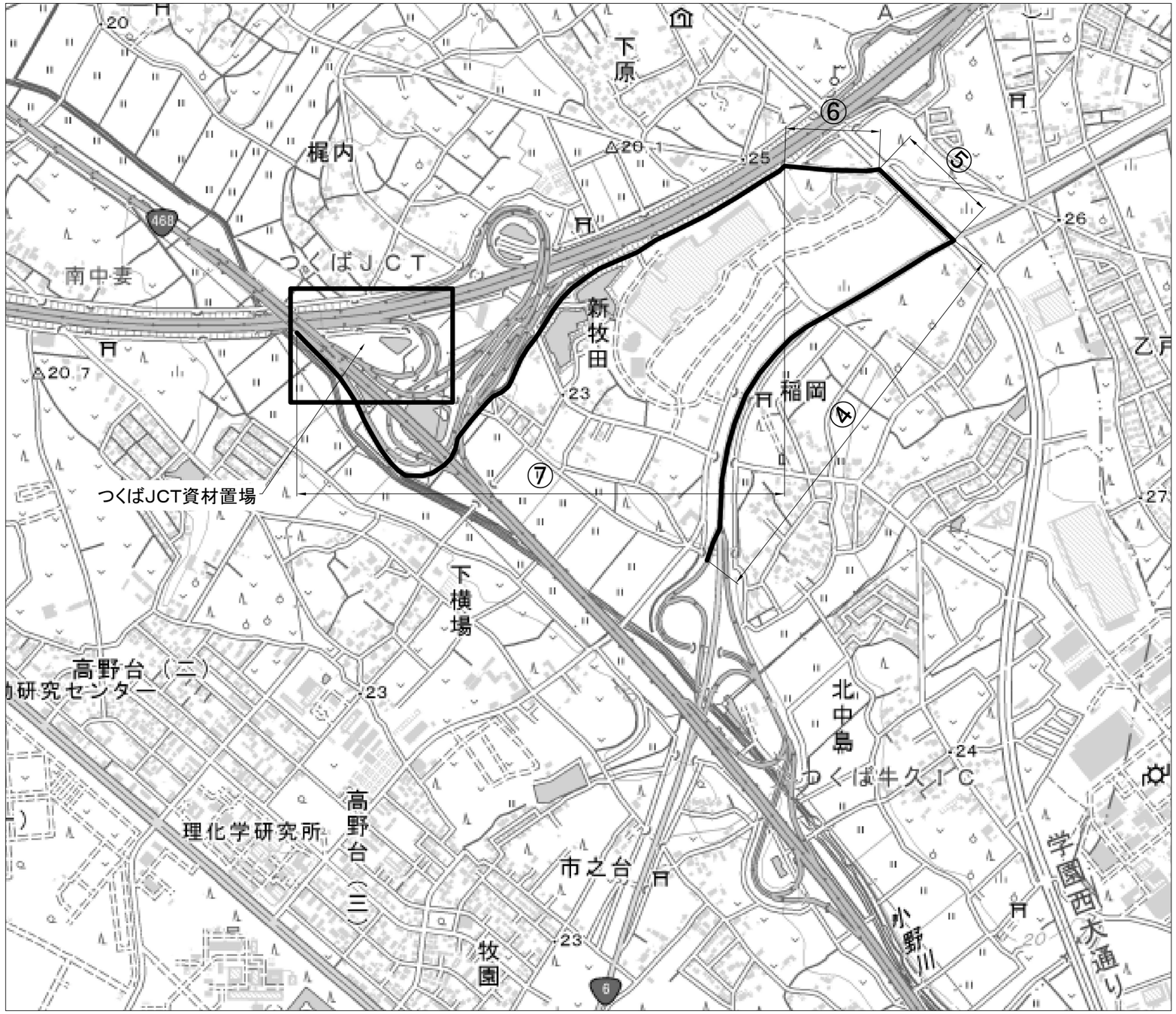
番号	路線名または場所
①	県道25号土浦稲敷線
②	稲敷市道（江）3388号線
③	工事用道路B1

沼田地区土取場

土砂仮置場

首都圏中央連絡自動車道 下総ＩＣ～大栄ＪＣＴ間遮音壁工事			
図面の種類	位置図（2） 沼 田 地 区 土 取 場 ・ 土 砂 仮 置 場		
縮　尺	図示	図面番号	2／32
設計会社名			
施工会社名			
事務所名	東日本高速道路株式会社　関東支社 つ く ば 工 事 事 務 所		

位 置 図（3）
つくばＪＣＴ資材置場



番号	路線名または場所
④	国道6号
⑤	県道274号牛久赤塚線
⑥	県道273号館野荒川沖停車場線
⑦	つくば市道5-6027号線

地理院地図（国土地理院）（https://maps.gsi.go.jp/）をもとに、東日本高速道路（株）が加工

首都圏中央連絡自動車道 下総ＩＣ～大栄ＪＣＴ間遮音壁工事			
図面の種類	位 置 図（3） つくばＪＣＴ資材置場		
縮　尺	—	図面番号	3／32
設計会社名			
施工会社名			
事務所名	東日本高速道路株式会社　関東支社 つ く ば 工 事 事 務 所		

位　置　図（4）
富 里 Ｉ Ｃ 資 材 置 場

至　大栄ＪＣＴ



至　酒々井ＩＣ

地理院地図（国土地理院）（https://maps.gsi.go.jp/）をもとに、東日本高速道路（株）が加工

首都圏中央連絡自動車道 下総ＩＣ～大栄ＪＣＴ間遮音壁工事			
図面の種類	位 置 図（4） 富 里 Ｉ Ｃ 資 材 置 場		
縮　尺	―	図面番号	4／32
設計会社名			
施工会社名			
事務所名	東日本高速道路株式会社　関東支社 つ く ば 工 事 事 務 所		

数 量 総 括 表

種別	区分	2-(5)	2-(6)	15-(9)	18-(5)	18-(8)	18-(11)	19-(1)	19-(1)	19-(2)	19-(2)	特-(1)	特-(2)	特-(3)	特-(4)		特-(5)	特-(6)
		盛土工	構造物掘削	落下物防止柵	遮音壁	支柱落下防止装置	遮音壁基礎ぐい	交通規制工	交通規制工	交通保安要員	交通保安要員	遮音壁用アンカーボルト	廃材処分	試掘工	撤去工	撤去工	復旧工	交通安全施設工
		B	普通部A	G1-2		HS-U	鋼管ぐい（φ406.4、t=6.4）	固定規制A	車線規制A	交通監視員A1	交通誘導警備員B1	あと施工アンカーA	A	A	防草シート	落下物防止柵	防草シート	A
		土砂B	土砂B															
	単　位	m3	m3	m	m	箇所	m	回	回	人・日	人・日	本	t	箇所	m2	m	m2	式
遮音壁橋梁部				1.50		1					20					12.20		
Ⅳ－O(A)－4(H=1m)MI					24.18							20						
Ⅳ－J－O(A)－4(H=1m)MI					4.06							8						
					(1箇所)													
遮音壁土工部														31	336.00		336.00	
Ⅰ－P(A)(H=2m)M		94.58	154.22		168.00		168.00											
遮音壁切替部																		
Ⅰ－P(B)－1.5(H=2m)M					1.49							7						
Ⅰ－P(C)－1.7(H=2m)M		0.43	2.68		1.70		8.00											
STA.86+21.05～STA.88+18.36								1	2	41			1.10					1
合　計		95.01	156.90	1.50	199.43	1	176.00	1	2	41	20	35	1.10	31	336.00	12.20	336.00	1

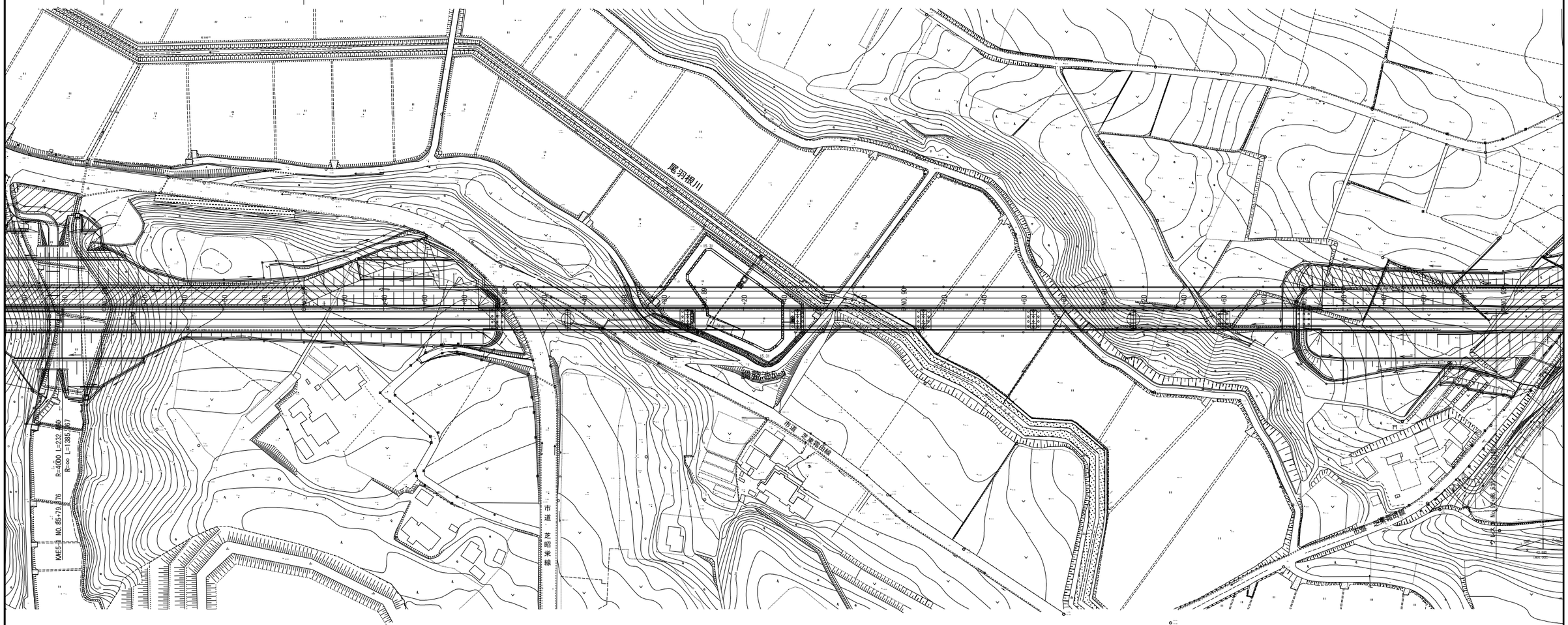
首都圏中央連絡自動車道 下総ＩＣ～大栄ＪＣＴ間遮音壁工事	
図面の種類	数 量 総 括 表
縮　尺	— 図面番号 5／32
設計会社名	
施工会社名	
事務所名	東日本高速道路株式会社　関東支社 つ く ば 工 事 事 務 所

土 工 平 面 図　S=1:2000

成田市芝

至　下総ＩＣ

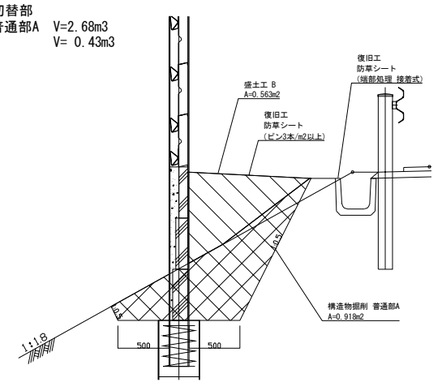
至　大栄ＪＣＴ

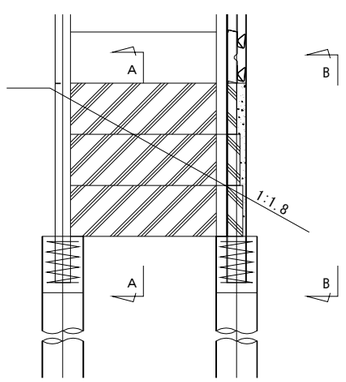


土工部　　切替部

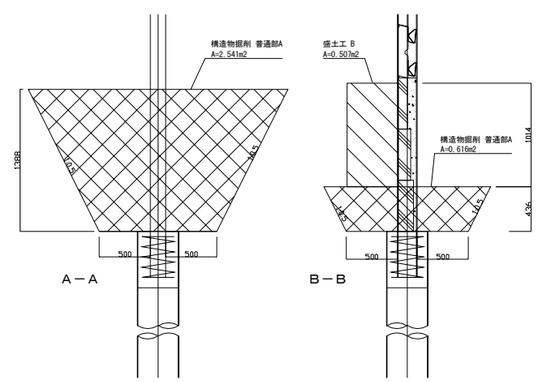
構造物掘削　普通部A　V=154.22m3　　構造物掘削　普通部A　V=2.68m3
盛土工 B　V= 94.58m3　　盛土工 B　V= 0.43m3

土工詳細図(土工部)





土工詳細図(切替部)



数量表

名　称		単位	総　数　量
構造物掘削	普通部A	m3	156.90
盛土工	B	m3	95.01

＝注記＝

1)防草シートの詳細については
「造園施設標準図集 ｼｰﾄﾏﾙﾁﾝｸﾞ(ﾛｰﾙ) SMR-F」による。

首都圏中央連絡自動車道 下総ＩＣ～大栄ＪＣＴ間遮音壁工事			
図面の種類	土 工 平 面 図		
縮　尺	1:2000	図面番号	6／32
設計会社名			
施工会社名			
事務所名	東日本高速道路株式会社　関東支社 つくば工事事務所		

遮音壁平面図　S=1:2000

至　下総ＩＣ

至　大栄ＪＣＴ



土工部
Ⅰ-P(A)(H=2m)M L=168.00m

切替部（土留壁あり）
Ⅰ-P(C)-1.7(H=2m)M L=1.70m

切替部（土留壁なし）
Ⅰ-P(B)-1.5(H=2m)M L=1.49m

橋梁部（標準部）
Ⅳ-O(A)-4(H=1m)MI L=4.00m

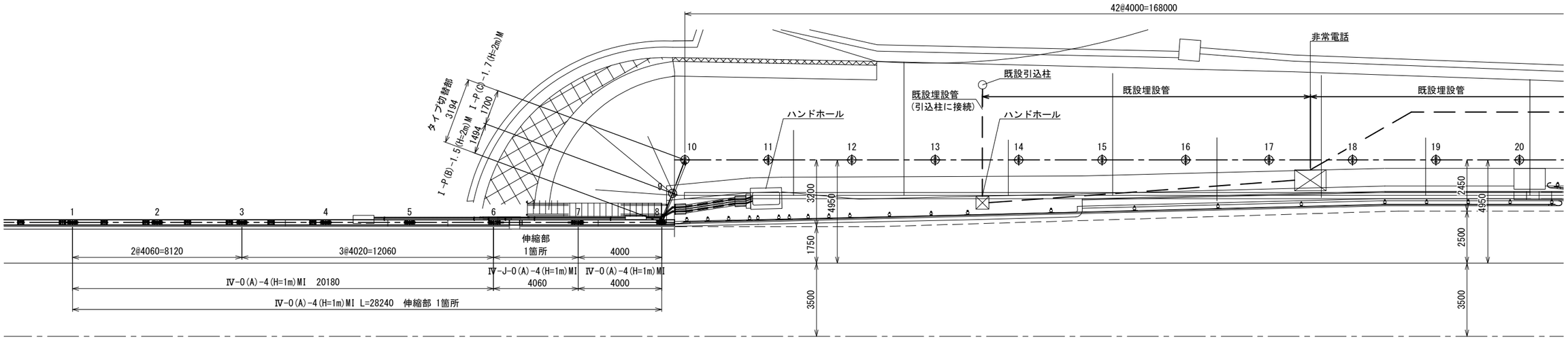
橋梁部（標準部）
Ⅳ-O(A)-4(H=1m)MI L=20.18m

橋梁部（伸縮部）
Ⅳ-J-O(A)-4(H=1m)MI L=4.06m

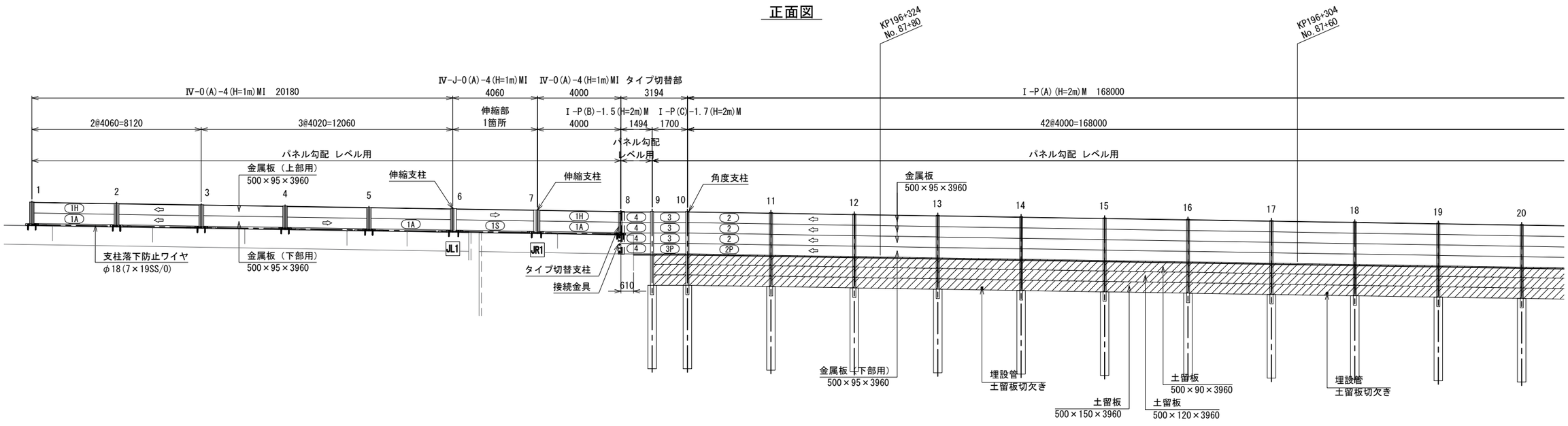
首都圏中央連絡自動車道 下総ＩＣ～大栄ＪＣＴ間遮音壁工事			
図面の種類	遮音壁平面図		
縮　尺	1:2000	図面番号	7／32
設計会社名			
施工会社名			
事務所名	東日本高速道路株式会社　関東支社 つくば工事事務所		

遮 音 壁 割 付 図 （1） S=1：200

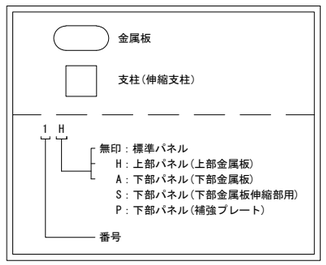
平面図



正面図



仕様			
金属板	使用材料	遮音板 t=95	
	材　質	正面板	JIS H4000 A5052P：1.0t
		背面板	JIS G 3323 SGMH400 K27 または SGMC400 K27:1.6t 及び上記同等品
	固定金具	H125用　SUS301-CSP	
		H150用　SUS301-CSP	
		H194用　SUS301-CSP	
	備　考		
主要部材	使用材料	H-125×125×6.5×9 H-194×150×6×9 PL-9　PL-12　PL-16	
	材　質	SS400	
	表面仕上	溶融亜鉛めっき HDZT77	
	備　考		



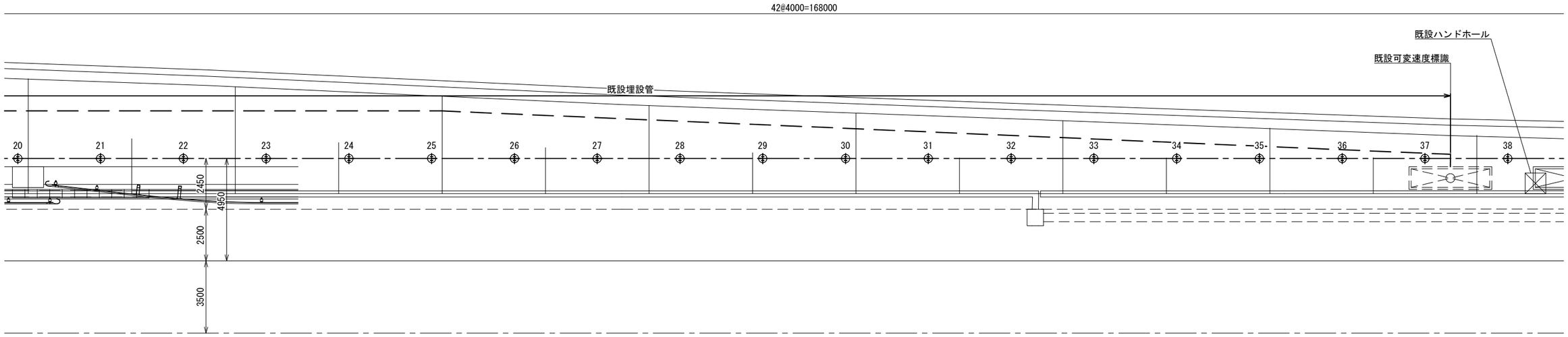
＝注記＝

1) 正面図は道路側から見た図とする。
2) 壁高欄外側の設備について、移設または一時的に取り外し遮音壁設置後に基の位置に戻す等の対応が必要。
3) 埋設管路の埋設位置、管径および土被りは想定であり施工時に現地確認のうえ施工すること。
想定値：管径φ30、土被り0.5m

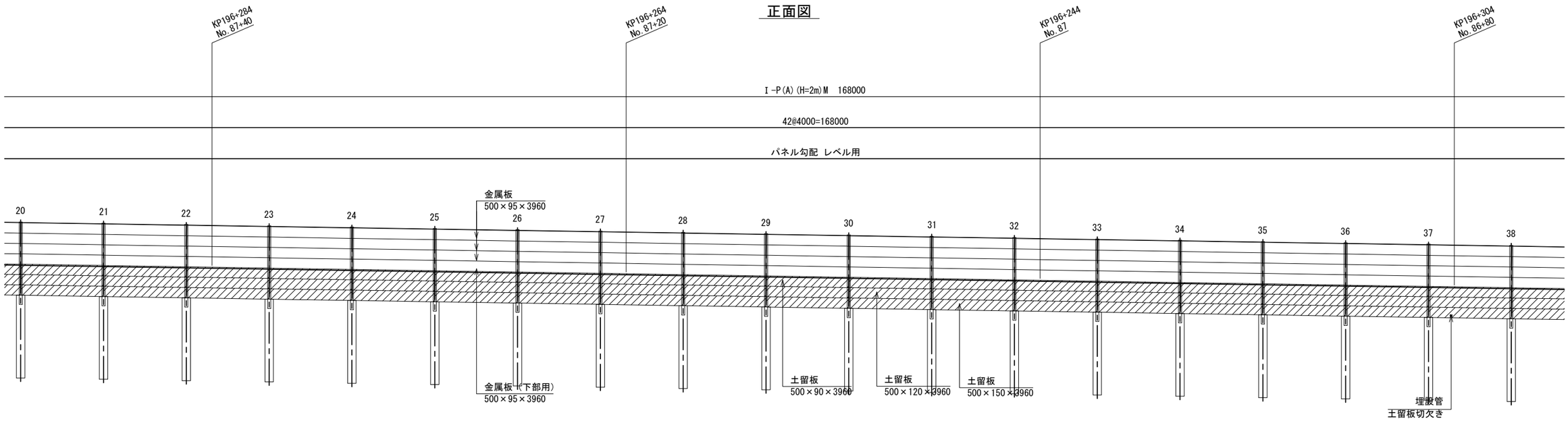
首都圏中央連絡自動車道 下総ＩＣ～大栄ＪＣＴ間遮音壁工事			
図面種類	遮 音 壁 割 付 図（1）		
縮　尺	1:200	図面番号	8／32
設計会社名	株式会社 建設環境研究所		
施工会社名			
事務所名	東日本高速道路株式会社　関東支社 つ く ば 工 事 事 務 所		

遮 音 壁 割 付 図（2） S=1：200

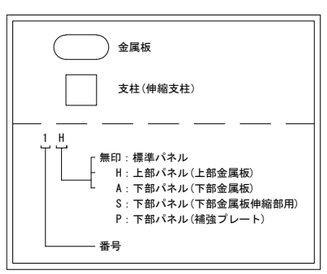
平面図



正面図



仕様			
金属板	使用材料	遮音板 t=95	
	材　質	正面板	JIS H4000 A5052P：1.0t
		背面板	JIS G 3323 SGMH400 K27 または SGMC400 K27:1.6t 及び上記同等品
	固定金具	H125用　SUS301-CSP	
		H150用　SUS301-CSP	
		H194用　SUS301-CSP	
	備　考		
主要部材	使用材料	H-125×125×6.5×9 H-194×150×6×9 PL-9　PL-12　PL-16	
	材　質	SS400	
	表面仕上	溶融亜鉛めっき HDZT77	
	備　考		



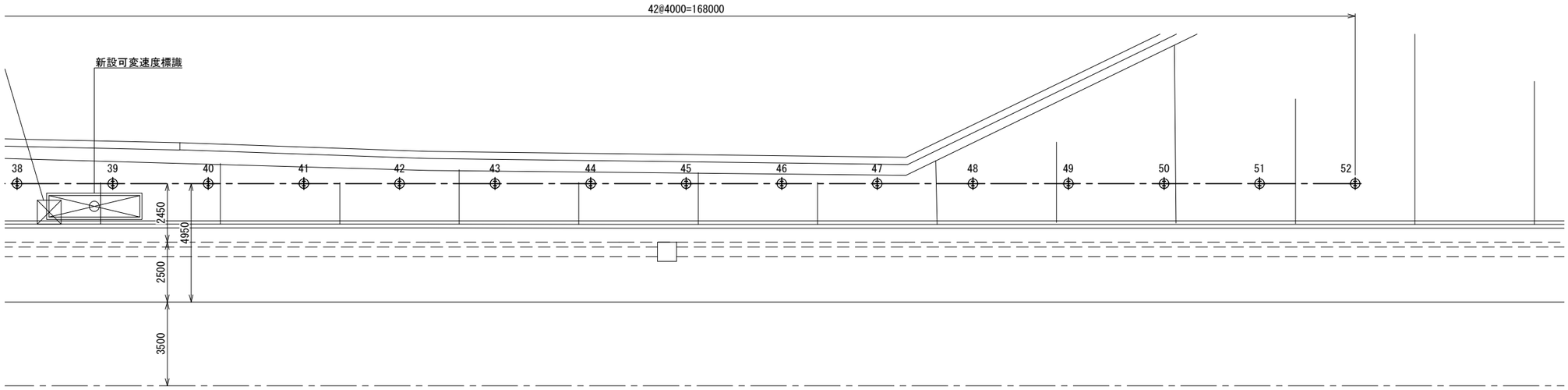
＝注記＝

1) 正面図は道路側から見た図とする。
2) 壁高欄外側の設備について、移設または一時的に取り外し遮音壁設置後に基の位置に戻す等の対応が必要。
3) 埋設管路の埋設位置、管径および土被りは想定であり施工時に現地確認のうえ施工すること。
想定値：管径φ30、土被り0.5m

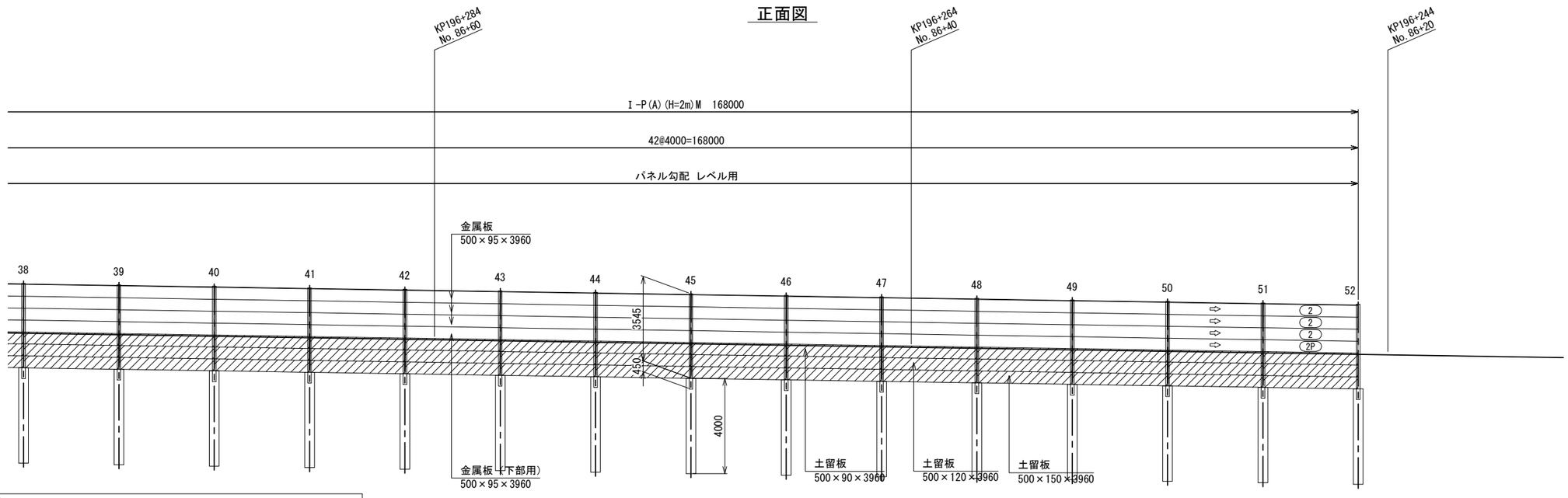
首都圏中央連絡自動車道 下総ＩＣ～大栄ＪＣＴ間遮音壁工事			
図面種類	遮 音 壁 割 付 図（2）		
縮　尺	1:200	図面番号	9／32
設計会社名	株式会社 建設環境研究所		
施工会社名			
事務所名	東日本高速道路株式会社　関東支社 つ く ば 工 事 事 務 所		

遮 音 壁 割 付 図（３） S=1：200

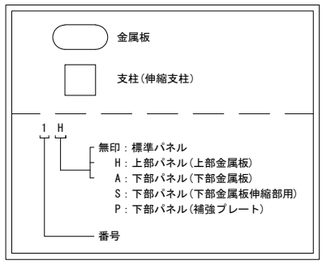
平面図



正面図



仕様			
金属板	使用材料	遮音板 t=95	
	材　質	正面板	JIS H4000 A5052P：1.0t
		背面板	JIS G 3323 SGMH400 K27 または SGMC400 K27:1.6t 及び上記同等品
	固定金具	H125用　SUS301-CSP	
		H150用　SUS301-CSP	
		H194用　SUS301-CSP	
	備　考		
主要部材	使用材料	H-125×125×6.5×9 H-194×150×6×9 PL-9　PL-12　PL-16	
	材　質	SS400	
	表面仕上	溶融亜鉛めっき HDZT77	
	備　考		



＝注記＝

1) 正面図は道路側から見た図とする。
2) 壁高欄外側の設備について、移設または一時的に取り外し遮音壁設置後に基の位置に戻す等の対応が必要。
3) 埋設管路の埋設位置、管径および土被りは想定であり施工時に現地確認のうえ施工すること。
想定値：管径φ30、土被り0.5m

首都圏中央連絡自動車道 下総ＩＣ～大栄ＪＣＴ間遮音壁工事			
図面種類	遮 音 壁 割 付 図（３）		
縮　尺	1:200	図面番号	１０／３２
設計会社名	株式会社 建設環境研究所		
施工会社名			
事務所名	東日本高速道路株式会社　関東支社 つ く ば 工 事 事 務 所		

遮音壁数量総括表

項目	遮音壁					支柱落下防止装置	遮音壁用アンカーボルト			
種別	Ⅳ-0(A)-4 (H=1m)MI	Ⅳ-J-0(A)-4 (H=1m)MI 1箇所	I-P(B)-1.5 (H=2m)M	I-P(C)-1.7 (H=2m)M	I-P(A) (H=2m)M	HS-U L=28.24	Ⅳ-0(A)-4 (H=1m)MI 接着系あと施工アンカー	Ⅳ-J-0(A)-4 (H=1m)MI 接着系あと施工アンカー	I-P(B)-1.5 (H=2m)M 接着系あと施工アンカー	I-P(B)-1.5 (H=2m)M 穿孔式埋込ボルト
単位	m	m	m	m	m	箇所	本	本	本	本
橋梁部	24.18	4.06				1	20	8		
タイプ切替部			1.49	1.70					4	3
土工部					168.00					
合計	24.18	4.06	1.49	1.70	168.00	1	20	8	4	3

数量内訳表

名称	符号	部材	形状・寸法	個数	数量	材質	表面仕上	摘要
上部金属板 7枚	1H	ワイヤ受け付 アイボルト付	500 × 95 × 3960	－	7	背面板 JIS G 3323 SGMH400 K27 または SGMC400 K27:1.6t 及び上記同等品		
下部金属板 7枚	1A	アイボルト付	600 × 95 × 3960	－	6			
	1S		600 × 95 × 3960	－	1			伸縮部用
金属板 133枚	2	アイボルト無	500 × 95 × 3960	－	126			
	3		500 × 95 × 1540	－	3			
	4		500 × 95 × 1170	－	4			
金属板（下部用） 43枚	2P	アイボルト無	500 × 95 × 3960	－	42			補強プレート：3箇所
	3P		500 × 95 × 1540	－	1			補強プレート：2箇所
土留板			500 × 90 × 3960	－	42	プレキャストRC板		
			500 × 90 × 1540	－	1			
			500 × 120 × 3960	－	42			
			500 × 120 × 1540	－	1			
			500 × 150 × 3960	－	42			
			500 × 150 × 1540	－	1			
橋梁部支柱 5本		H	125 × 125 × 6.5 × 9 × 1104	1	5	SS400	HDZT77	支柱1～5
伸縮部左側支柱 1本	JL1	H	125 × 125 × 6.5 × 9 × 1104	1	1	SS400	HDZT77	支柱6
伸縮部右側支柱 1本	JR1	H	125 × 125 × 6.5 × 9 × 1104	1	1	SS400	HDZT77	支柱7
タイプ切替支柱 1本		H	125 × 125 × 6.5 × 9 × 1104	1	1	SS400	HDZT77	支柱8
接続金具 1本		PL	PL-9	1	1	SS400	HDZT77	支柱8
土工部支柱 42本		H	194 × 150 × 6.0 × 9 × 3995	1	42	SS400	HDZT77	支柱11～52
中間支柱 1本		H	194 × 150 × 6.0 × 9 × 3995	1	1	SS400	HDZT77	支柱9
角度支柱 1本		H	194 × 150 × 6.0 × 9 × 3995	1	1	SS400	HDZT77	支柱10
固定金具		H125用	標準部用 t=1.5	－	28	SUS301-CSP		
		H150用	標準部用 t=1.5	－	4			
			最下段用 t=1.5	－	1			
		H194用	標準部用 t=1.5	－	348			
			最下段用 t=1.5	－	87			
ワイヤ止め金具		φ10用	t=1.5	－	8	SUS301-CSP		
パネル落下防止ワイヤ			φ10(7×19SS/0) L= 5540	1	8	JIS G 3550 B種		
支柱落下防止ワイヤ			φ18(7×19SS/0) L= 28240※	1	1	JIS G 3550 B種		橋梁部一連 対象箇所L=28.24m
勾配調整プレート		PL	190 × 6/13.6 × 480	－	5	SS400	HDZT77	
		PL	190 × 6/13.6 × 540	－	2			
		PL	190 × 6/13.6 × 430	－	1			
コンクリート		B1-3		－	3.48	中詰めコンクリート (σck=24N/mm2)		
スパイラル鉄筋		A	D 10 × 6000	1	44	SD345		
モルタル		1:2		－	0.87	－		土留板止め用
型枠		D		－	7.31	－		土留板止め用
遮音壁基礎ぐい								
遮音壁基礎ぐい 44本	鋼管ぐい		φ 406.4 × 6.4 × 4000	1	44	STK400又はSKK400		
遮音壁用アンカーボルト								
接着系あと施工アンカーボルト	天端部		D25(M22) × 270 B・緩み止めN・W	－	32	SS400相当	HDZT49	
穿孔式埋込ボルト	側面部		M20 × 170 B・緩み止めN・W	－	3	SS400相当	HDZT49	

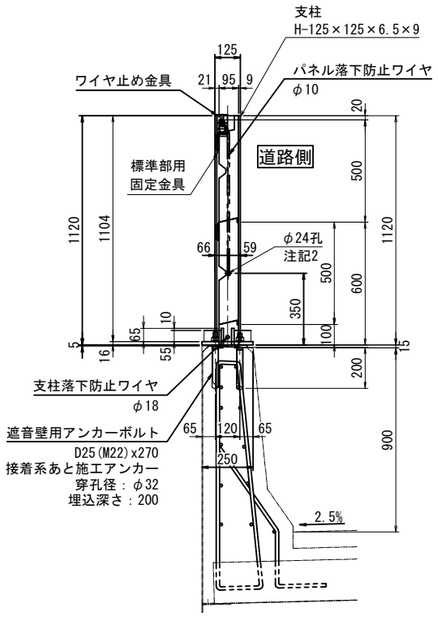
注）※については、ワイヤの架設範囲から求めた参考値とする。
ワイヤメーカー決定後に余長を検討の上、適切なロープ長を決定のこと。

首都圏中央連絡自動車道 下総ＩＣ～大栄ＪＣＴ間遮音壁工事	
図面種類	遮音壁数量総括表
縮尺	－
図面番号	１１／３２
設計会社名	株式会社 建設環境研究所
施工会社名	
事務所名	東日本高速道路株式会社 関東支社 つくば工事事務所

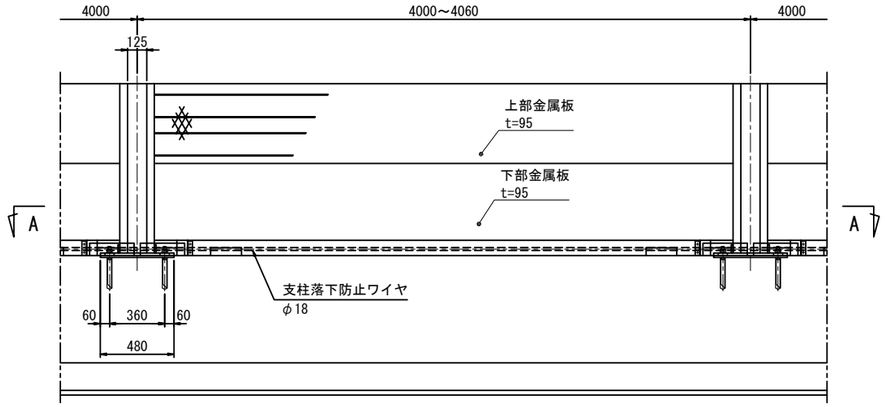
遮音壁構造図（1）

橋梁部 Ⅳ-0(A)-4(H=1m)MI

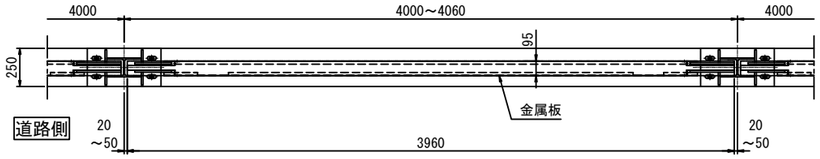
断面図　縮尺 1:30



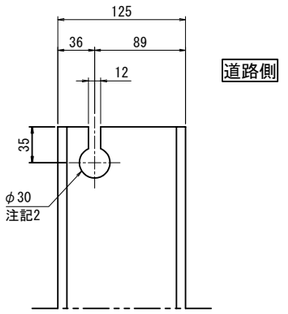
正面図　縮尺 1:40



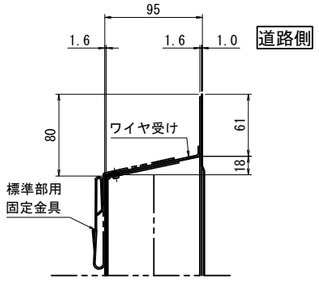
A-A断面図　縮尺 1:40



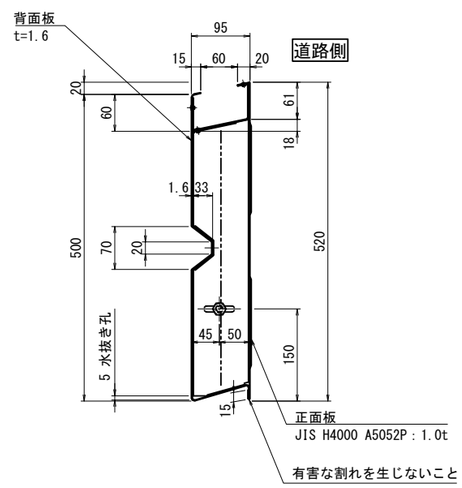
柱頭部詳細図　縮尺 1:6



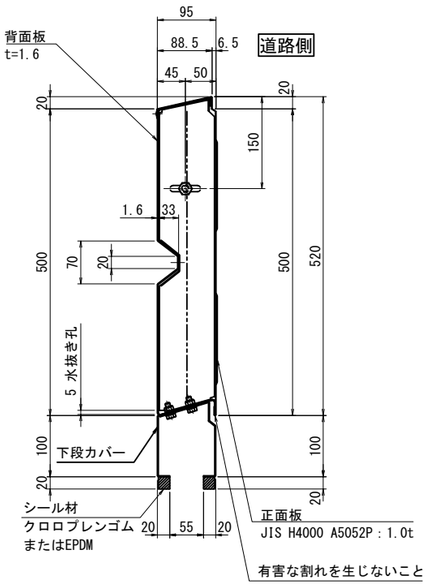
上部パネル端部詳細図　縮尺 1:6



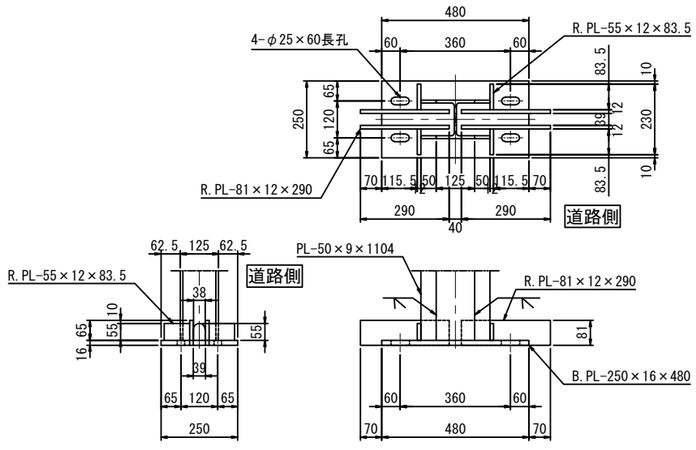
上部パネル断面詳細図　縮尺 1:10



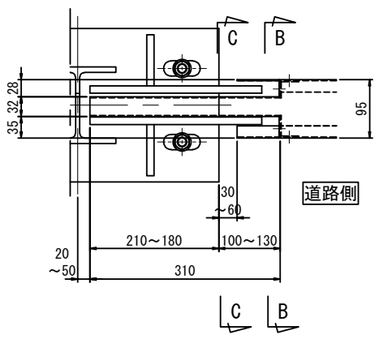
下部パネル断面詳細図　縮尺 1:10



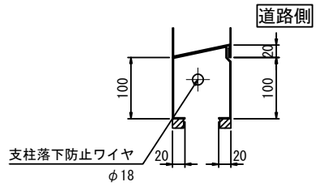
ベースプレート詳細図　縮尺 1:20



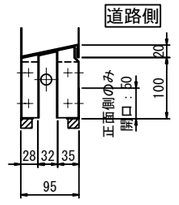
下部金属板取付図　縮尺 1:10



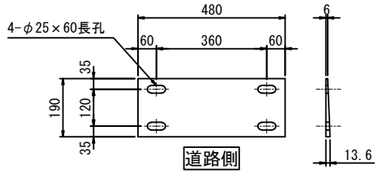
B-B断面図　縮尺 1:10



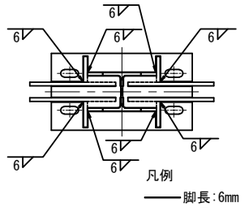
C-C断面図　縮尺 1:10



勾配調整プレート詳細図　縮尺 1:20



溶接図　縮尺 1:20



数量表　（1スパン当り）

名　称	部　材	形　状・寸　法	@質量(kg)	個数	質量(kg) 部材別	質量(kg) 組合計	製作数	合計質量(kg)	材　質	表面仕上	摘　要
遮音壁	Ⅳ-0(A)-4(H=1m)MI										
上部金属板	ワイヤ受け付 1枚	500 × 95 × 3960	–	–	–	–	1	–	背面板 JIS G 3323 SGMH400 K27 または SGMC400 K27:1.6t 及び上記同等品		
下部金属板	アイボルト付 1枚	600 × 95 × 3960	–	–	–	–	1	–			
支柱	H	125 × 125 × 6.5 × 9 × 1104	26.05	1	26.05	67.28	1	67.28	SS400	HDZT77	
	B.PL	250 × 16 × 480	15.07	1	15.07						
	PL	50 × 9 × 1104	3.90	4	15.60						
	R.PL	55 × 12 × 83.5	0.43	4	1.72						
1本	R.PL	81 × 12 × 290	2.21	4	8.84						
固定金具	H125用	標準部用 t=1.5	–	–	–	–	4	–	SUS301-CSP		
ワイヤ止め金具	φ10用	t=1.5	–	–	–	–	1	–	SUS301-CSP		
パネル落下防止ワイヤ		φ10(7×19SS/0) L= 5540	2.25	1	–	2.25	1	2.25	JIS G 3550 B種		
支柱落下防止ワイヤ		φ18(7×19SS/0) L= 4000～4060	–	–	–	–	1	–	JIS G 3550 B種		
勾配調整プレート	PL	190 × 6/13.6 × 480	7.02	–	–	–	1	7.02	SS400	HDZT77	
遮音壁用アンカーボルト											
あと施エアンカーA		D25(M22) × 270 B・緩み止めN・W	–	–	–	–	4	–	SS400相当	HDZT49	接着系あと施エアンカー

＝注記＝

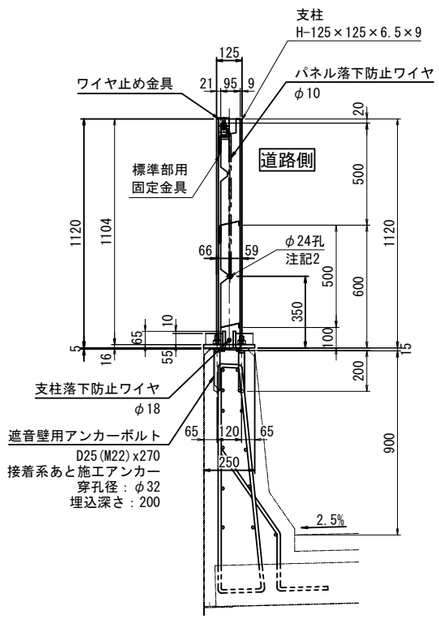
1) 正面図は道路側から見た図とする。
2) ワイヤ通し孔は全周グラインダー仕上げとする。
3) 壁高欄外側の設備について、移設又は一時的に取り外し遮音壁設置後に基の位置に戻す等の対応が必要。

首都圏中央連絡自動車道 下総ＩＣ～大栄ＪＣＴ間遮音壁工事			
図面種類	遮音壁構造図（1） 橋梁部 Ⅳ-0(A)-4(H=1m)MI		
縮　尺	図示	図面番号	12／32
設計会社名	株式会社 建設環境研究所		
施工会社名			
事務所名	東日本高速道路株式会社 関東支社 つくば工事事務所		

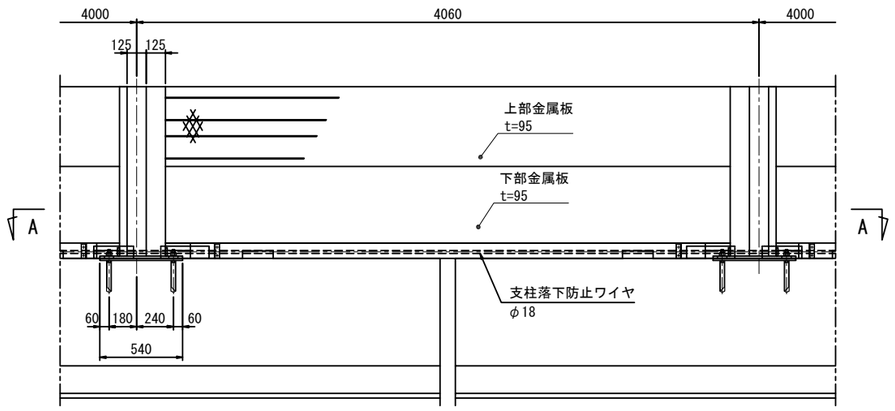
遮音壁構造図（２）

伸縮部 Ⅳ-J-O(A)-4(H=1m)MI

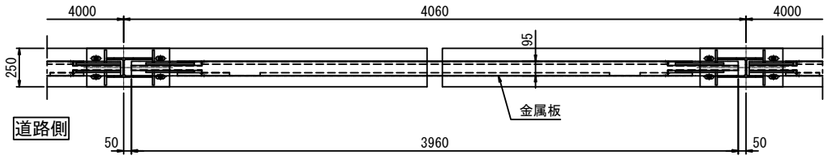
断面図　縮尺 1:30



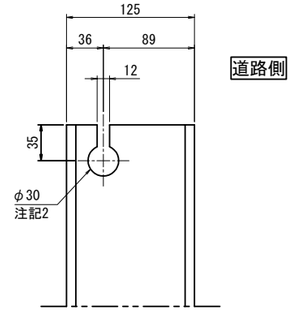
正面図　縮尺 1:40



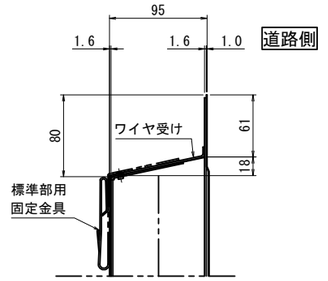
A-A断面図　縮尺 1:40



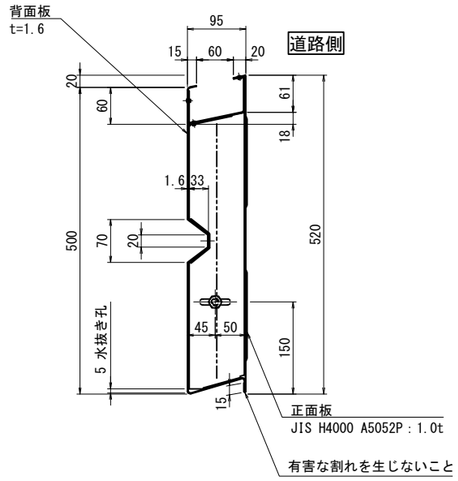
柱頭部詳細図　縮尺 1:6



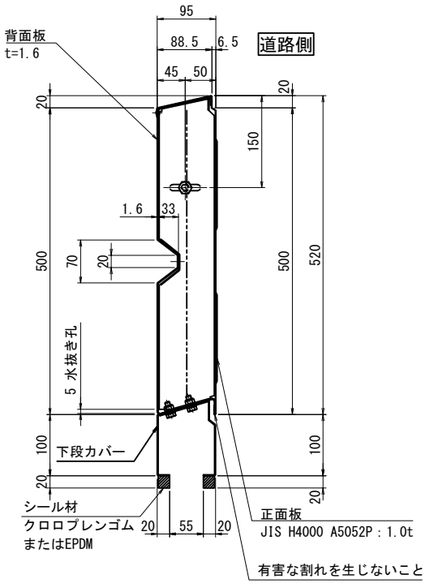
上部パネル端部詳細図　縮尺 1:6



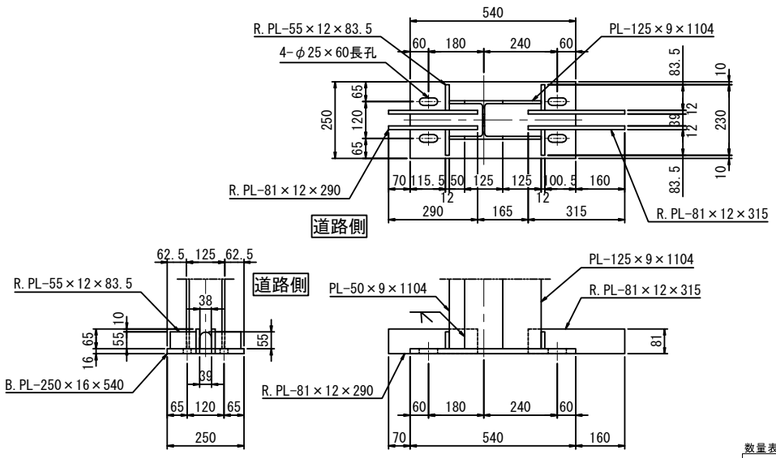
上部パネル断面詳細図　縮尺 1:10



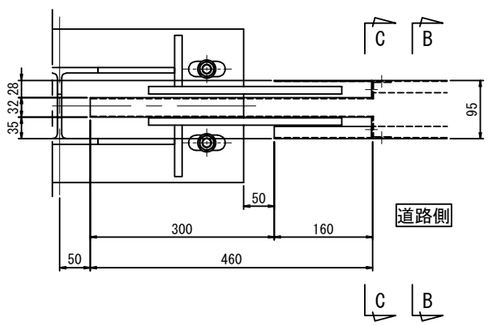
下部パネル断面詳細図　縮尺 1:10



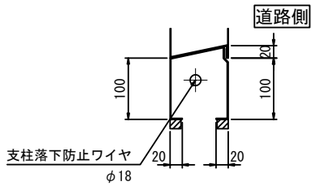
ベースプレート詳細図　縮尺 1:20



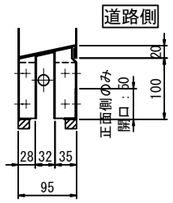
下部金属板取付図　縮尺 1:10



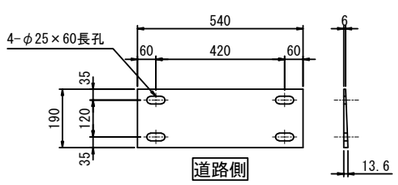
B-B断面図　縮尺 1:10



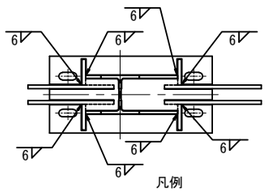
C-C断面図　縮尺 1:10



勾配調整プレート詳細図　縮尺 1:20



溶接図　縮尺 1:20



数量表

（1スパン当り）

名称	部材	形状・寸法	単質量(kg)	個数	質量(kg) 部材別	質量(kg) 組合計	製作数	合計質量(kg)	材質	表面仕上	摘要
遮音壁	Ⅳ-J-O(A)-4(H=1m)MI										
上部金属板	ワイヤ受け付 1枚 アイボルト付	500 × 95 × 3960	–	–	–	–	1	–	背面板 JIS G 3323 SGMH400 K27 または SGMC400 K27:1.6t 及び上記同等品		
下部金属板	1枚 アイボルト付	600 × 95 × 3960	–	–	–	–	1	–			
支柱	H	125 × 125 × 6.5 × 9 × 1104	26.05	1	26.05	81.25	1	81.25	SS400	HDZT77	
	B.PL	250 × 16 × 540	16.96	1	16.96						
	PL	125 × 9 × 1104	9.75	2	19.50						
	PL	50 × 9 × 1104	3.90	2	7.80						
	R.PL	55 × 12 × 83.5	0.43	4	1.72						
	R.PL	81 × 12 × 290	2.21	2	4.42						
	1本 R.PL	81 × 12 × 315	2.40	2	4.80						
固定金具	H125用	標準部用 t=1.5	–	–	–	–	4	–	SUS301-CSP		
ワイヤ止め金具	φ10用	t=1.5	–	–	–	–	2	–	SUS301-CSP		
支柱落下防止ワイヤ		φ18(7×19SS/0) L= 4000～4060	–	–	–	–	1	–	JIS G 3550 B種		
パネル落下防止ワイヤ		φ10(7×19SS/0) L= 5540	2.25	1	–	2.25	2	4.50	JIS G 3550 B種		
勾配調整プレート	PL	190 × 6/13.6 × 540	7.89	–	–	–	2	15.78	SS400	HDZT77	
遮音壁用アンカーボルト											
あと施工アンカーA		D25(M22) × 270 B・緩み止めN・W	–	–	–	–	8	–	SS400相当	HDZT49	接着系あと施工アンカー

＝注記＝

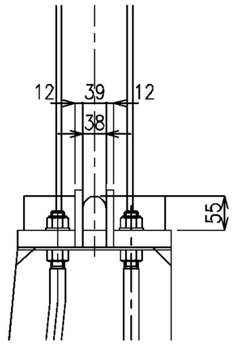
1) 正面図は道路側から見た図とする。
2) ワイヤ通し孔は全周グラインダー仕上げとする。
3) 壁高欄外側の設備について、移設又は一時的に取り外し遮音壁設置後に基の位置に戻す等の対応が必要。

首都圏中央連絡自動車道 下総ＩＣ～大栄ＪＣＴ間遮音壁工事			
図面種類	遮音壁構造図（２） 伸縮部 Ⅳ-J-O(A)-4(H=1m)MI		
縮尺	図示	図面番号	１３／３２
設計会社名	株式会社 建設環境研究所		
施工会社名			
事務所名	東日本高速道路株式会社 関東支社 つくば工事事務所		

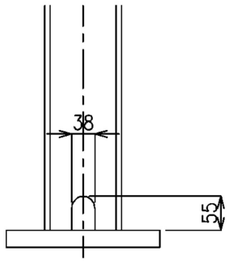
遮 音 壁 構 造 図（３）

支柱落下防止装置　HS-U

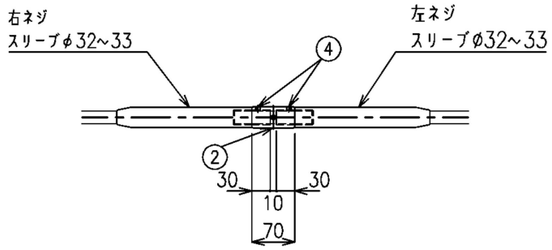
A－A断面図　縮尺1:10



B－B断面図　縮尺1:10



中間ジョイント　縮尺1:10



注）　中間ジョイントは出来るだけ
支柱スパンの中間に設置すること

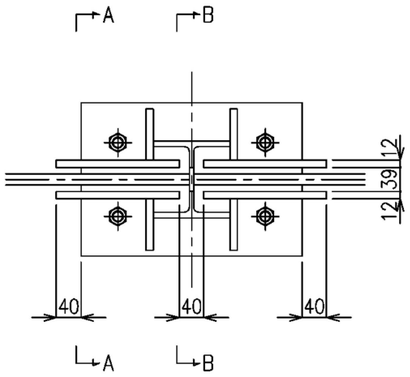
材料表　（100m当り）

番号	種　別	形　状	単　位	個　数	単位質量	質量	材　質	摘　要
①		φ18(7x19SS/0)x50m	本	2	1.32kg/m	－	JIS G 3550 B種	
②		カプラー　φ34x70	個	3		－	SUS304	
③	B	M24x500	本	2		－	SUS304	端末金具
④	B	M8	個	6		－	SUS304	六角穴付止めネジ
⑤	ＰＬ	90x32x53	枚	2		1	SUS304	M24ネジ切り， 外周面ナイロンコーティング
						1	kg	

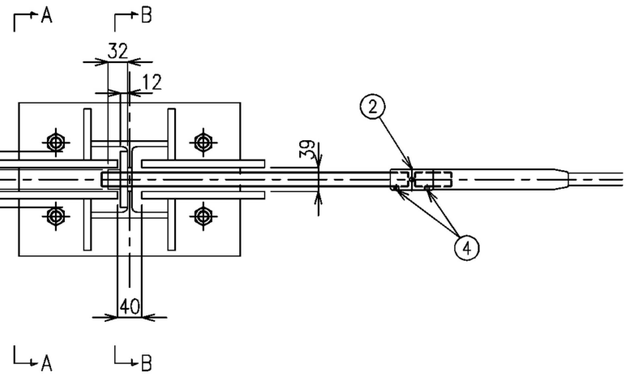
※架設長が支柱落下防止索の適用範囲（設計要領）より長くなる場合は、適用範囲内になるように連結部を設ける。その場合は以下の連結部の材料を加算するものとする。

番号	種　別	形　状	単　位	個　数	単位質量	質量	材　質	摘　要
②		カプラー　φ34x70	個	2		－	SUS304	
④	B	M8	個	4		－	SUS304	六角穴付止めネジ
⑤	ＰＬ	90x32x53	枚	1		1	SUS304	M24ネジ切り， 外周面ナイロンコーティング
⑥	B	M24x875	本	1		－	SUS304	中間連結ボルト

標準支柱平面図　縮尺1:10

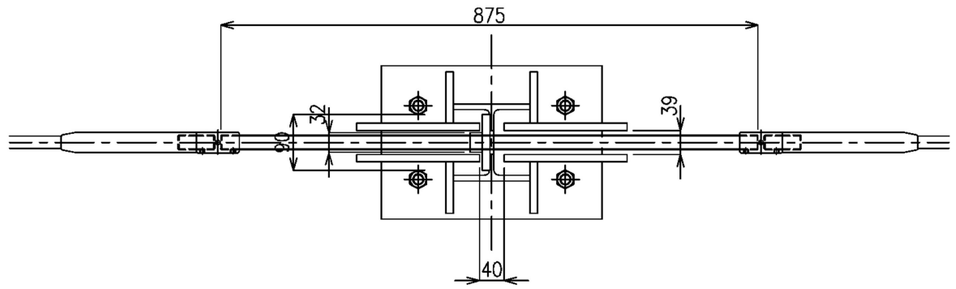


端部支柱平面図　縮尺1:10

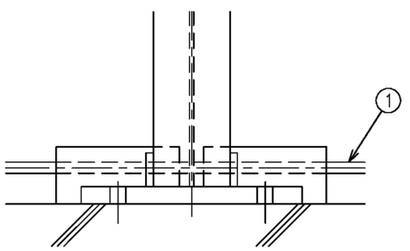


連結部支柱平面図　縮尺1:10

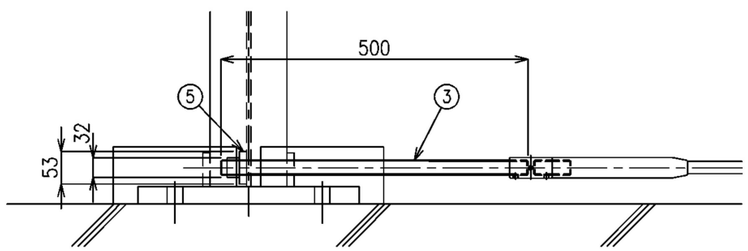
※連結部を設ける場合



標準支柱側面図　縮尺1:10

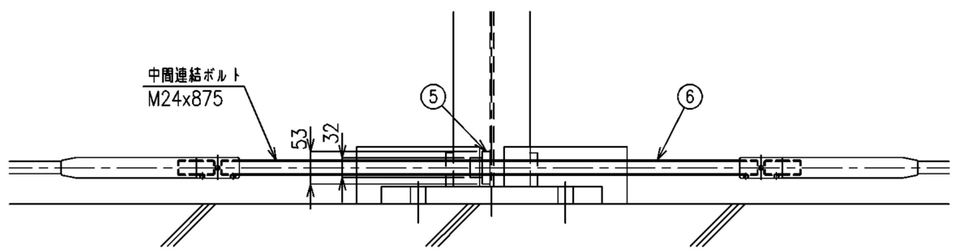


端部支柱側面図　縮尺1:10



連結部支柱側面図　縮尺1:10

※連結部を設ける場合

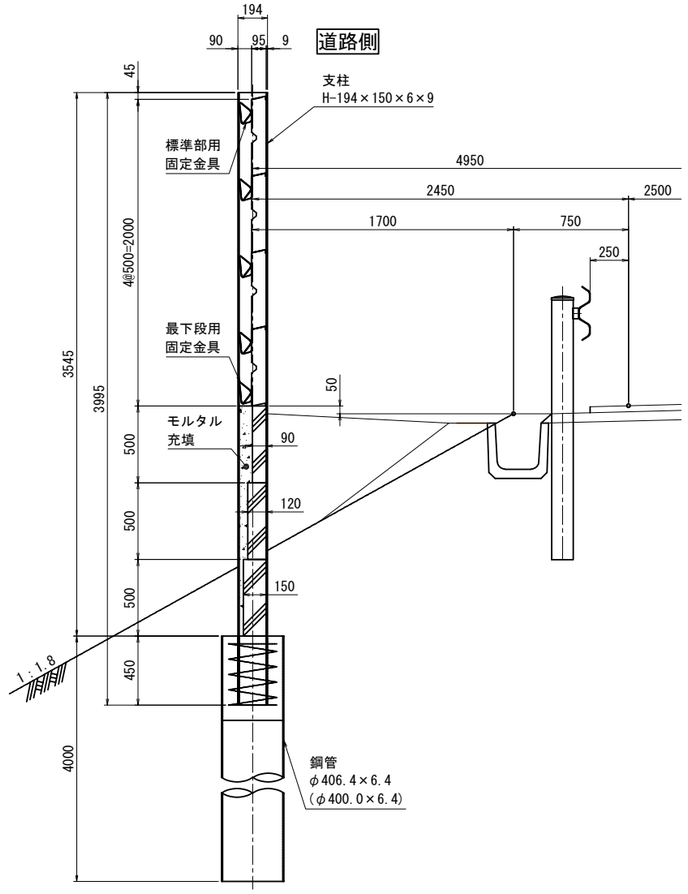


首都圏中央連絡自動車道 下総ＩＣ～大栄ＪＣＴ間遮音壁工事	
図面種類	遮 音 壁 構 造 図（３） 支柱落下防止装置　HS-U
縮　尺	図示　　図面番号　１４／３２
設計会社名	株式会社 建設環境研究所
施工会社名	
事務所名	東日本高速道路株式会社　関東支社 つ く ば 工 事 事 務 所

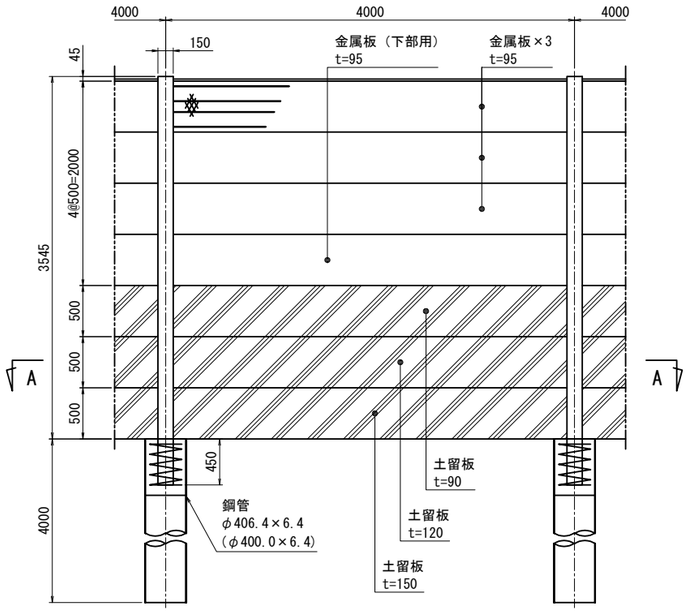
遮音壁構造図（4）

土工部 Ⅰ-P(A)(H=2m)M

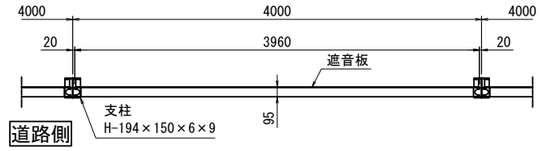
断面図 縮尺 1:40



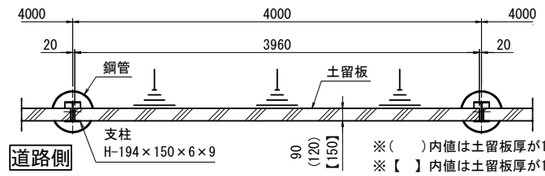
正面図 縮尺 1:60



平面図 縮尺 1:60

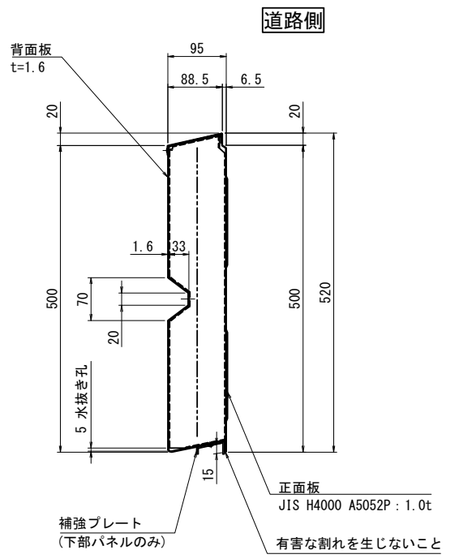


A-A断面図 縮尺 1:60

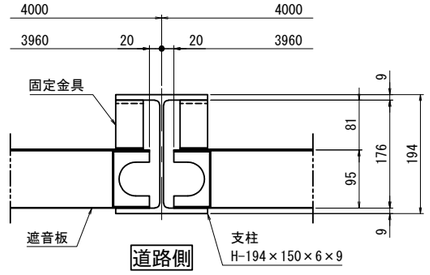


※（ ）内値は土留板厚が120㎜の場合
※【 】内値は土留板厚が150㎜の場合

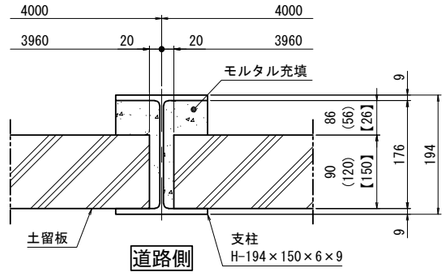
パネル断面詳細図 縮尺 1:10



パネル取付詳細図 縮尺 1:10

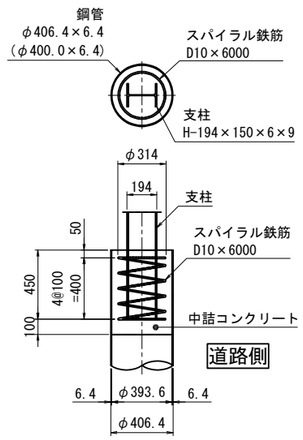


土留板取付詳細図 縮尺 1:10



※（ ）内値は土留板厚が120㎜の場合
※【 】内値は土留板厚が150㎜の場合

くい頭詳細図 縮尺 1:40



数量表

（1スパン当り）

名称	部材	形状・寸法	単質量 (kg)	個数	質量(kg) 部材別	質量(kg) 組合計	製作数	合計質量 (kg)	材質	表面仕上	摘要
遮音壁	I-P(A)(H=2m)M										
金属板 3枚	アイボルト無	500 × 95 × 3960	－	－	－	－	3	－	背面板 JIS G 3323 SGMH400 K27 または SGMC400 K27:1.6t 及び上記同等品		
金属板（下部用） 1枚	アイボルト無	500 × 95 × 3960	－	－	－	－	1	－			補強プレート付：3箇所
土留板		500 × 90 × 3960	－	－	－	－	1	－	プレキャストRC板		
		500 × 120 × 3960	－	－	－	－	1	－			
		500 × 150 × 3960	－	－	－	－	1	－			
支柱 1本	H	194 × 150 × 6 × 9 × 3995	119.45	1	－	119.45	1	119.45	SS400	HDZT77	
固定金具	H194用	標準部用 t=1.5	－	－	－	－	8	－	SUS301-CSP		
		最下段用 t=1.5	－	－	－	－	2	－			
コンクリート	B_{I-3}		－	－	－	－	0.07m3	－	中詰めコンクリート		
スパイラル鉄筋	A	D 10 × 6000	3.36	1	－	3.36	1	3.36	SD345		
モルタル	1:2		－	－	－	－	0.02m3	－	－		土留板止め用
型枠	D		－	－	－	－	0.17m2	－	－		土留板止め用
遮音壁基礎ぐい											
遮音壁基礎ぐい 1本	鋼管ぐい	φ 406.4 × 6.4 × 4000	252.40	1	－	252.40	1	252.40	STK400又はSKK400		
土工											
構造物掘削 普通部A			－	－	－	－	3.67m3	－	－		くい部 土留板
盛土工 B			－	－	－	－	2.25m3	－	－		

＝注記＝

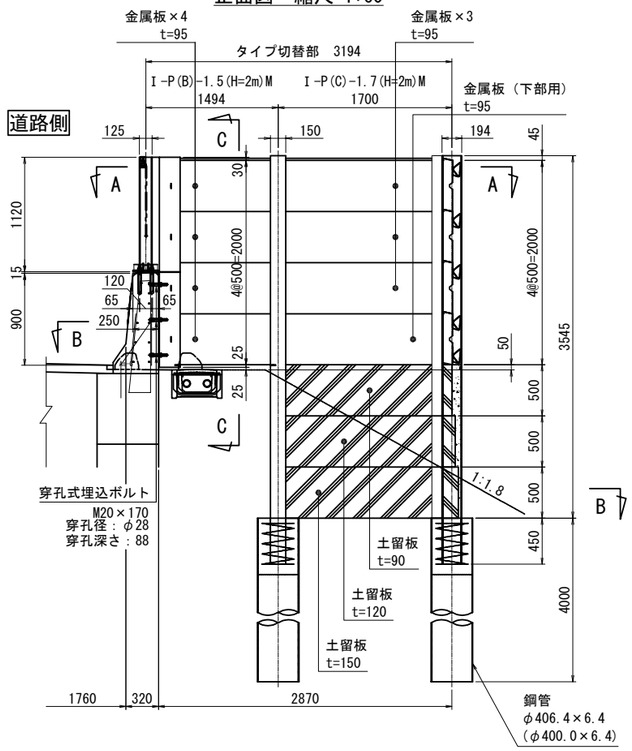
1)正面図は道路側から見た図とする。

首都圏中央連絡自動車道 下総ＩＣ～大栄ＪＣＴ間遮音壁工事			
図面種類	遮音壁構造図（4） 土工部 Ⅰ-P(A)(H=2m)M		
縮尺	図示	図面番号	15／32
設計会社名	株式会社 建設環境研究所		
施工会社名			
事務所名	東日本高速道路株式会社 関東支社 つくば工事事務所		

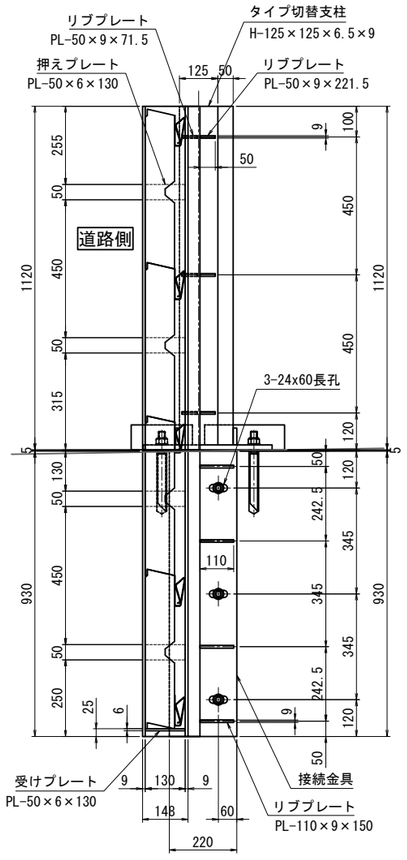
遮 音 壁 構 造 図（5）

切替部 Ⅰ-P(B)-1.5(H=2m)M・Ⅰ-P(C)-1.7(H=2m)M

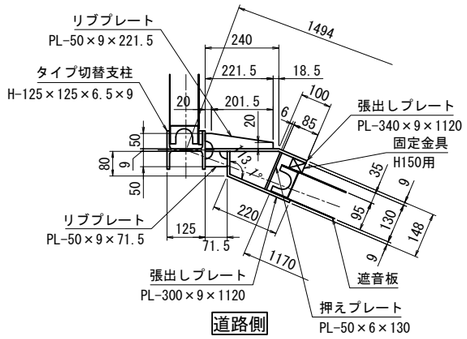
正面図 縮尺 1:60



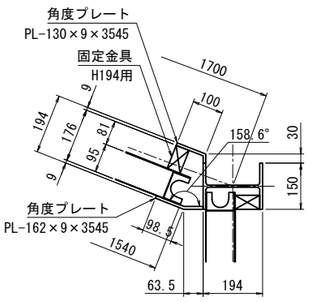
C-C断面図 縮尺 1:20



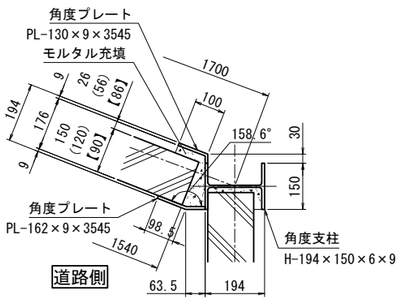
タイプ切替支柱上部取付詳細図 縮尺 1:20



角度支柱上部取付詳細図 縮尺 1:20

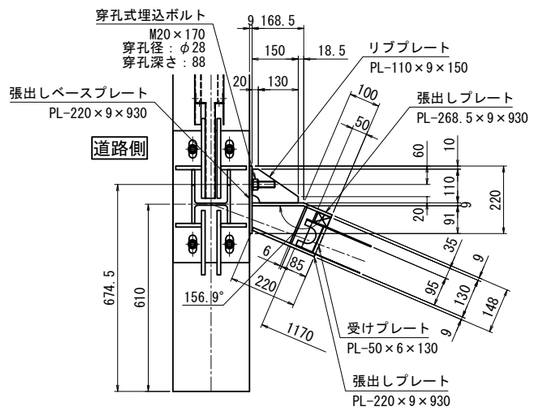


角度支柱下部取付詳細図 縮尺 1:20

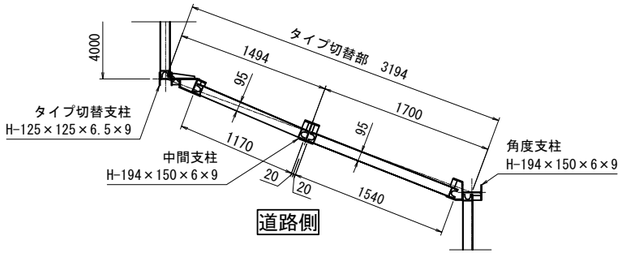


※（ ）内値は土留板厚が120㎜の場合
※【 】内値は土留板厚が90㎜の場合

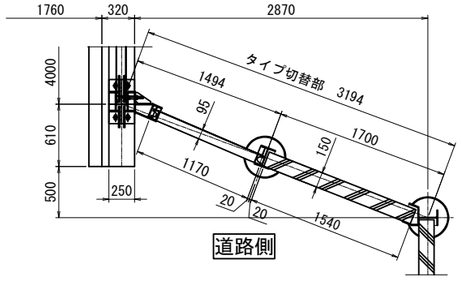
接続金具取付詳細図 縮尺 1:20



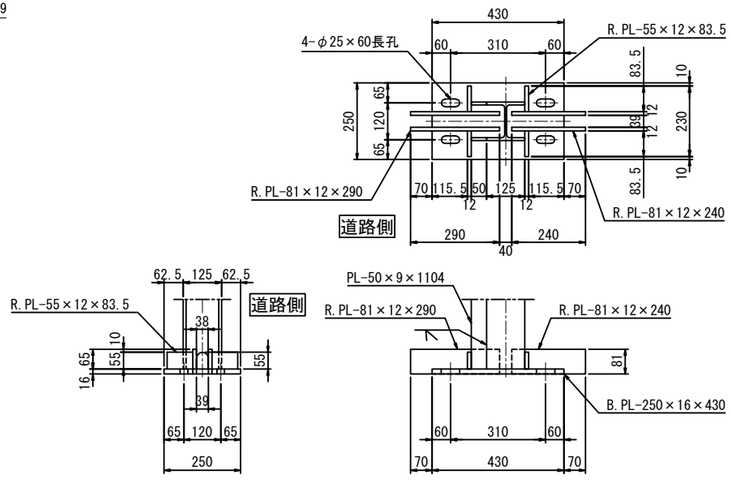
A-A断面図 縮尺 1:60



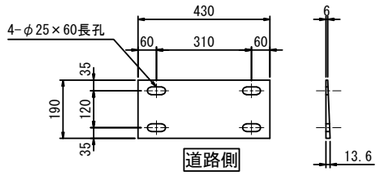
B-B断面図 縮尺 1:60



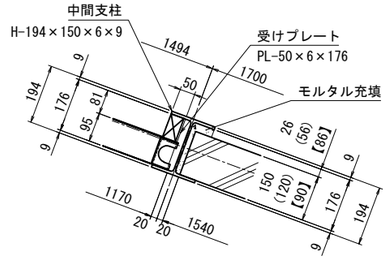
タイプ切替支柱ベースプレート詳細図 縮尺 1:20



勾配調整プレート詳細図 縮尺 1:20



中間支柱下部取付詳細図 縮尺 1:20



※（ ）内値は土留板厚が120㎜の場合
※【 】内値は土留板厚が90㎜の場合

＝注記＝

1）正面図は道路側から見た図とする。

首都圏中央連絡自動車道 下総ＩＣ～大栄ＪＣＴ間遮音壁工事			
図面種類	遮 音 壁 構 造 図（5） 切替部 Ⅰ-P(B)-1.5(H=2m)M・Ⅰ-P(C)-1.7(H=2m)M		
縮 尺	図示	図面番号	16／32
設計会社名	株式会社 建設環境研究所		
施工会社名			
事務所名	東日本高速道路株式会社 関東支社 つ く ば 工 事 事 務 所		

遮音壁構造図（6）

切替部 Ⅰ-P(B)-1.5(H=2m)M・Ⅰ-P(C)-1.7(H=2m)M

数量表１　　タイプ切替部（2スパン当り）

名称	部材	形状・寸法	@質量(kg)	個数	質量(kg) 部材別	質量(kg) 組合計	製作数	合計質量(kg)	材質	表面仕上	摘要
遮音壁	I-P(B)-1.5(H=2m)M										
金属板 4枚	アイボルト無	500 × 95 × 1170					4		背面板 JIS G 3323 SGMH400 K27 または SGMC400 K27:1.6t 及び上記同等品		
タイプ切替支柱 1本	H	125 × 125 × 6.5 × 9 × 1104	26.05	1	26.05	111.50	1	111.50	SS400	HDZT77	
	B.PL	250 × 16 × 430	13.50	1	13.50						
	PL	50 × 9 × 1104	3.90	2	7.80						
	PL	340 × 9 × 1120	26.90	1	26.90						
	PL	300 × 9 × 1120	23.74	1	23.74						
	R.PL	55 × 12 × 83.5	0.43	4	1.72						
	R.PL	81 × 12 × 240	1.83	2	3.66						
	R.PL	81 × 12 × 290	2.21	2	4.42						
	R.PL	50 × 9 × 221.5	0.78	3	2.34						
	R.PL	50 × 9 × 71.5	0.25	3	0.75						
	PL	50 × 6 × 130	0.31	2	0.62						
接続金具 1本	PL	269 × 9 × 930	17.64	1	17.64	52.15	1	52.15	SS400	HDZT77	
	PL	220 × 9 × 930	14.45	1	14.45						
	PL	220 × 9 × 930	14.45	1	14.45						
	PL	50 × 6 × 130	0.31	2	0.62						
	PL	50 × 6 × 130	0.31	1	0.31						
	R.PL	110 × 9 × 150	1.17	4	4.68						
固定金具	H150用	標準部用 t=1.5	－	－	－	－	4	－	SUS301-CSP		
		最下段用 t=1.5	－	－	－	－	1	－			
	H194用	標準部用 t=1.5	－	－	－	－	4	－			
		最下段用 t=1.5	－	－	－	－	1	－			
ワイヤ止め金具	φ10用	t=1.5	－	－	－	－	1	－	SUS301-CSP		
パネル落下防止ワイヤ		φ10(7×19SS/0) L= 5540	2.25	1	－	2.25	1	2.25	JIS G 3550 B種		
勾配調整プレート	PL	190 × 6/13.6 × 430	6.29	－	－	－	1	6.29	SS400	HDZT77	
遮音壁用アンカーボルト											
あと施工アンカーA		D25(M22) × 270 B・緩み止めN・W	－	－	－	－	4	－	SS400相当	HDZT49	接着系あと施工アンカー
		M20 × 170 B・緩み止めN・W	－	－	－	－	3	－	SS400相当	HDZT49	穿孔式埋込ボルト

数量表２

名称	部材	形状・寸法	@質量(kg)	個数	質量(kg) 部材別	質量(kg) 組合計	製作数	合計質量(kg)	材質	表面仕上	摘要
遮音壁	I-P(C)-1.7(H=2m)M										
金属板 3枚	アイボルト無	500 × 95 × 1540	－	－	－	－	3	－	背面板 JIS G 3323 SGMH400 K27 または SGMC400 K27:1.6t 及び上記同等品		
金属板（下部用） 1枚	アイボルト無	500 × 95 × 1540	－	－	－	－	1	－			補強プレート：2箇所
土留板		500 × 90 × 1540	－	－	－	－	1	－	プレキャストRC板		
		500 × 120 × 1540	－	－	－	－	1	－			
		500 × 150 × 1540	－	－	－	－	1	－			
中間支柱 1本	H	194 × 150 × 6.0 × 9 × 3995	119.45	1	119.45	119.86	1	119.86	SS400	HDZT77	
	PL	50 × 6 × 176	0.41	1	0.41						
角度支柱 1本	H	194 × 150 × 6.0 × 9 × 3995	119.45	1	119.45	192.58	1	192.58	SS400	HDZT77	
	PL	130 × 9 × 3545	32.56	1	32.56						
	PL	162 × 9 × 3545	40.57	1	40.57						
固定金具	H194用	標準部用 t=1.5	－	－	－	－	8	－			
		最下段用 t=1.5	－	－	－	－	2	－			
コンクリート	B_{1-3}		－	－	－	－	0.14m3	－	中詰めコンクリート（σck=24N/mm²）		
スパイラル鉄筋	A	D 10 × 6000	3.36	1	－	3.36	2	6.72	SD345		
モルタル	1:2		－	－	－	－	0.03m3	－	－		土留板止め用
型枠	D		－	－	－	－	0.17m2	－	－		土留板止め用
遮音壁基礎ぐい											
遮音壁基礎ぐい 1本	鋼管ぐい	φ 406.4 × 6.4 × 4000	252.40	1	－	252.40	1	252.40	STK400又はSKK400		
土工											
構造物掘削	普通部A		－	－	－	－	2.68m3	－	－		くい部 土留板
盛土工	B		－	－	－	－	0.43m3	－	－		

首都圏中央連絡自動車道 下総ＩＣ～大栄ＪＣＴ間遮音壁工事			
図面種類	遮音壁構造図（6） 切替部 Ⅰ-P(B)-1.5(H=2m)M・Ⅰ-P(C)-1.7(H=2m)M		
縮尺	—	図面番号	17／32
設計会社名	株式会社 建設環境研究所		
施工会社名			
事務所名	東日本高速道路株式会社 関東支社 つくば工事事務所		

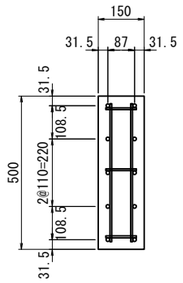
土 留 板 詳 細 図（１）

盛土斜面部用 t=150

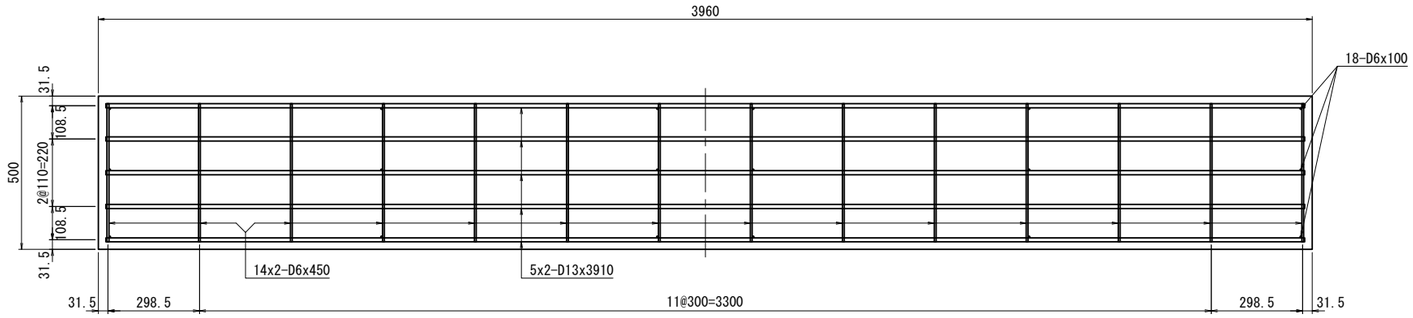
材料表

項　目	種別	単位	形　状	個数	質量	摘　要
コンクリート		m^3	500 × 150 × 3960	0.3	－	σck =24N/mm^2
鉄　筋		kg	D 6 × 450	28	3	SD295
		kg	D 6 × 100	18	1	
		kg	D13 × 3910	10	39	
					43 kg	

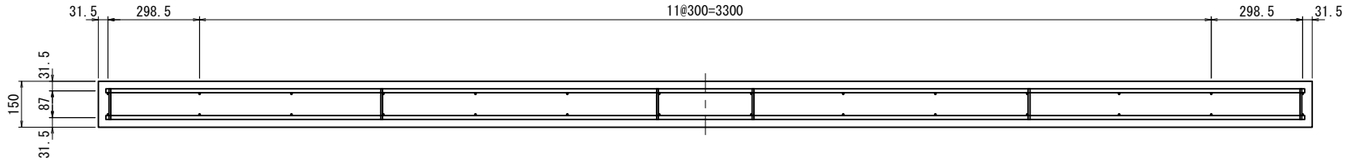
断面図　縮尺 1:20



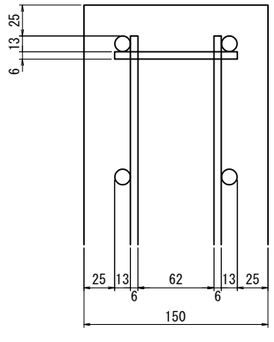
側面図　縮尺 1:20



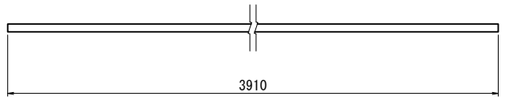
平面図　縮尺 1:20



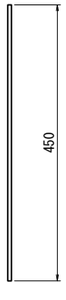
配筋詳細図　縮尺 1:5



10-D13x3910



28-D6x450



18-D6x100



＝注記＝

1)側面図は道路側から見た図とする。
2)土留板t=90、t=120の詳細については、
「遮音壁標準設計図集 土留板詳細図 盛土斜面部用」による。

首都圏中央連絡自動車道 下総ＩＣ～大栄ＪＣＴ間遮音壁工事			
図面種類	土留板詳細図（１） 盛土斜面部用 t=150		
縮　尺	図示	図面番号	１８／３２
設計会社名	株式会社 建設環境研究所		
施工会社名			
事務所名	東日本高速道路株式会社　関東支社 つ く ば 工 事 事 務 所		

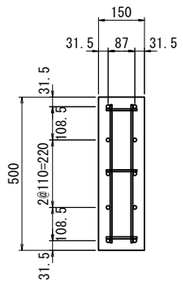
土 留 板 詳 細 図（2）

盛土斜面部用 切欠有 t=150

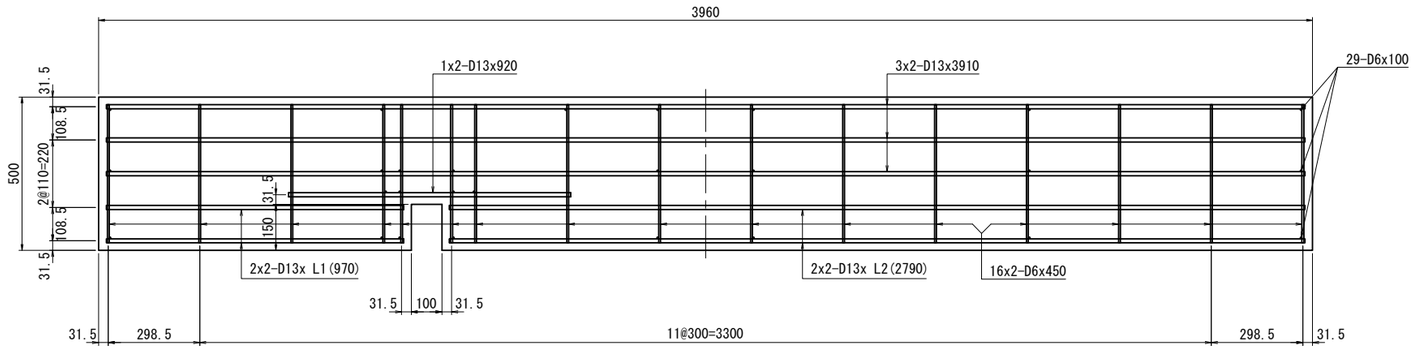
材料表

項　目	種別	単位	形　状	個数	質量	摘　要
コンクリート		m^3	500 × 150 × 3960	0.3	－	σck =24N/mm^2
鉄　筋		kg	D 6 × 450	32	4	SD295
		kg	D 6 × 100	29	1	
		kg	D13 × 3910	6	23	
		kg	D13 × L1 (970)	4	4	
		kg	D13 × L2 (2790)	4	11	
		kg	D13 × 920	2	2	
45 kg						

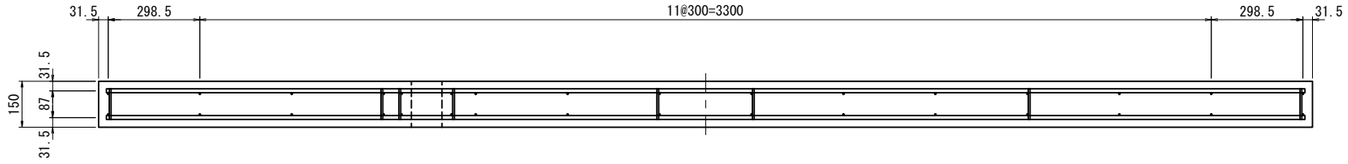
断面図　縮尺 1:20



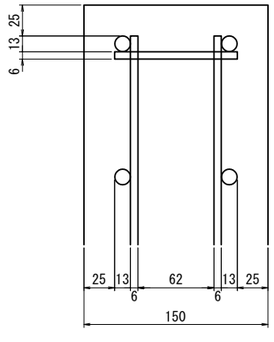
側面図　縮尺 1:20



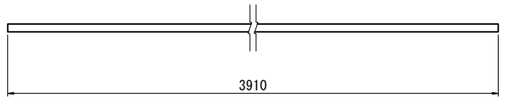
平面図　縮尺 1:20



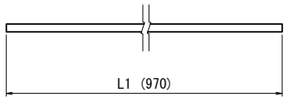
配筋詳細図　縮尺 1:5



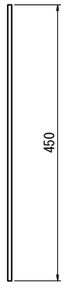
6-D13x3910



4-D13x L1(970)



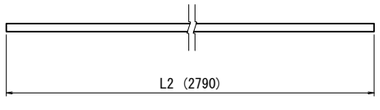
32-D6x450



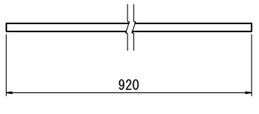
29-D6x100



4-D13x L2(2790)



2-D13x 920



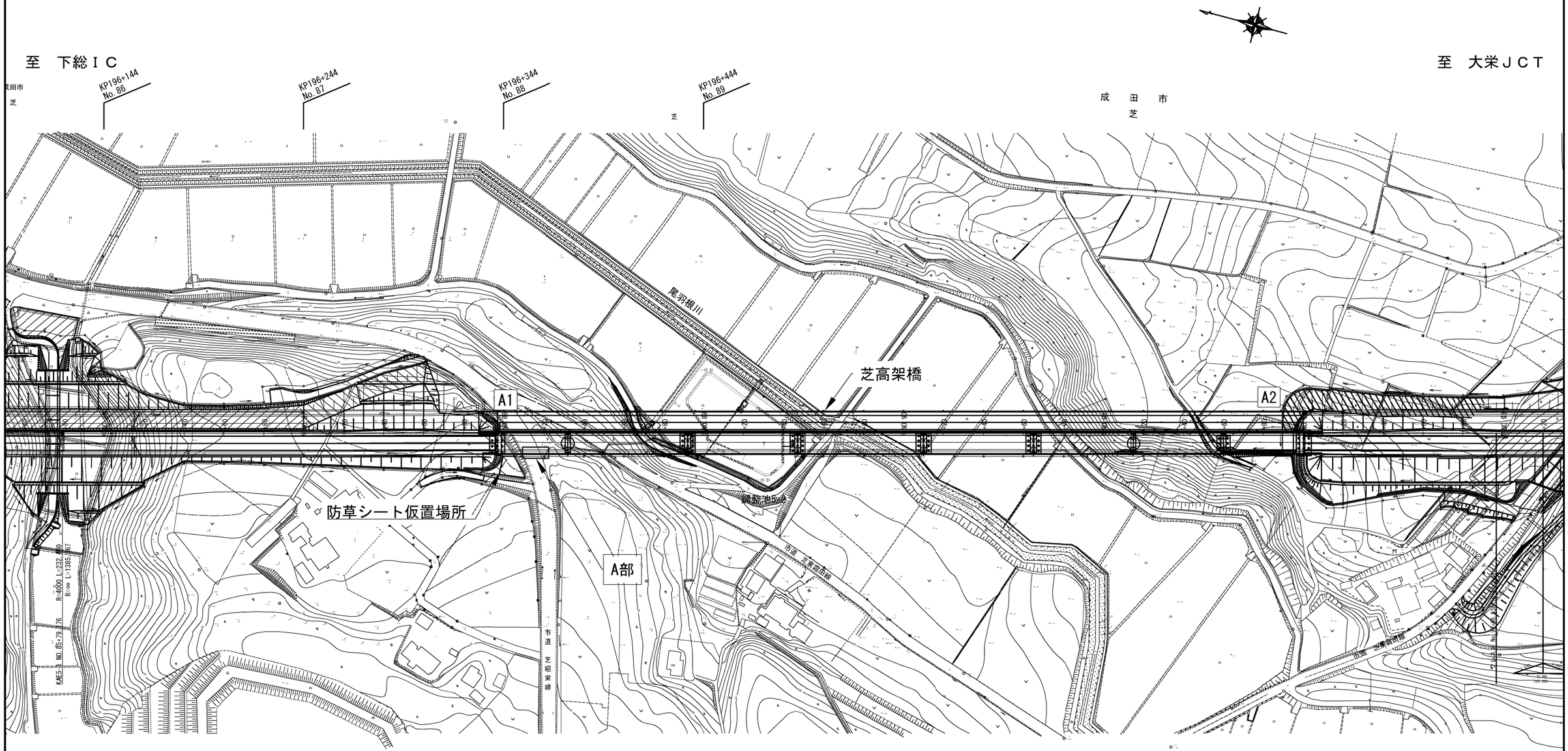
＝注記＝

1)正面図は道路側から見た図とする。

2)埋設管路の埋設位置、管径および土被りは想定であり製作時に現地確認のうえ製作すること。

首都圏中央連絡自動車道 下総ＩＣ～大栄ＪＣＴ間遮音壁工事			
図面種類	土留板詳細図（２） 盛土斜面部用 切欠有 t=150		
縮　尺	図示	図面番号	１９／３２
設計会社名	株式会社 建設環境研究所		
施工会社名			
事務所名	東日本高速道路株式会社　関東支社 つ く ば 工 事 事 務 所		

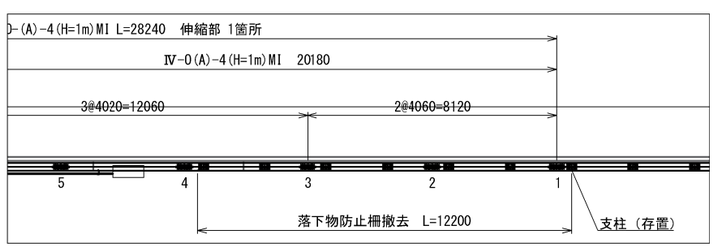
撤去工平面図 S=1:2000



防草シート A=336.Cm2

落下物防止柵 L=12.2m

A部拡大図 S=1:200

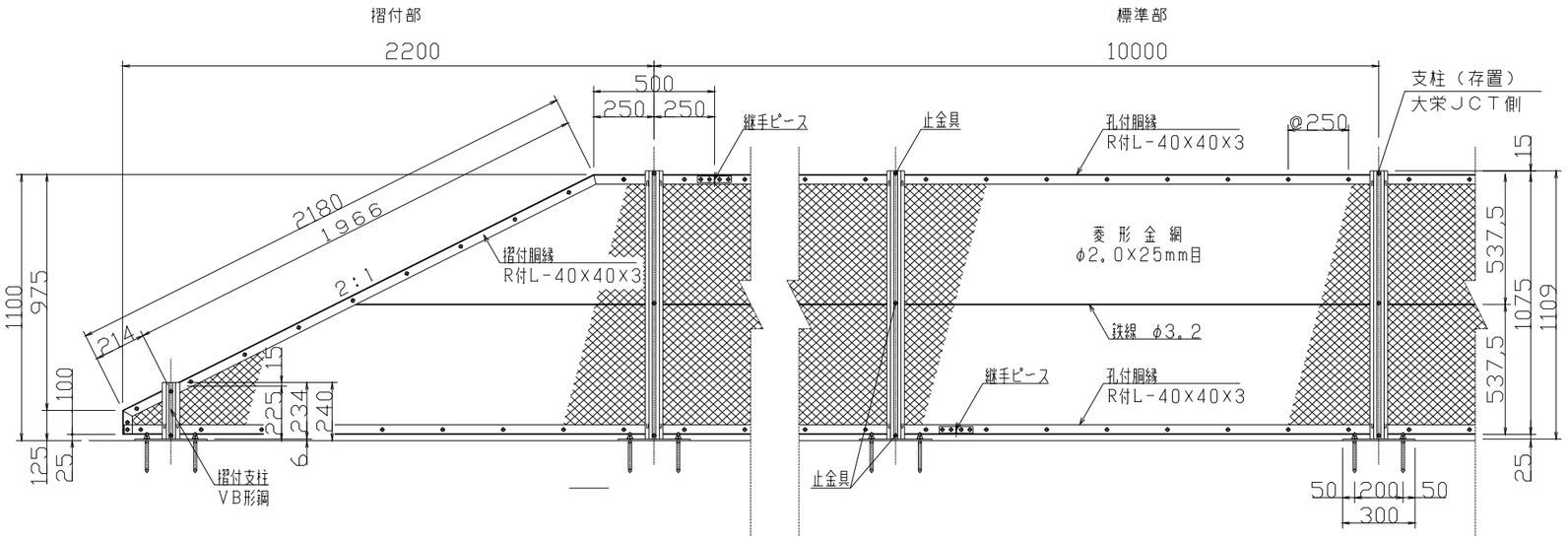


首都圏中央連絡自動車道 下総ＩＣ～大栄ＪＣＴ間遮音壁工事			
図面の種類	撤去工平面図		
縮　尺	1:2000	図面番号	２０／３２
設計会社名			
施工会社名			
事務所名	東日本高速道路株式会社　関東支社 つくば工事事務所		

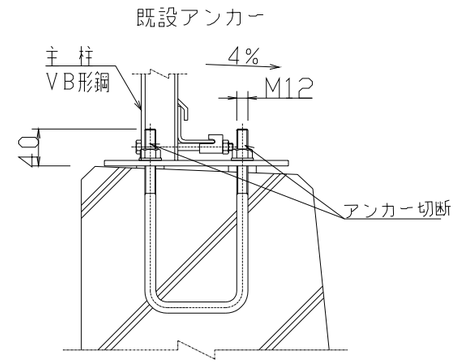
撤去工詳細図

落下物防止柵

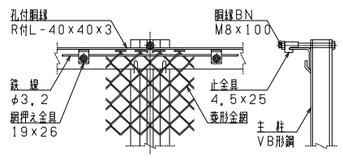
正面図 S=1:25



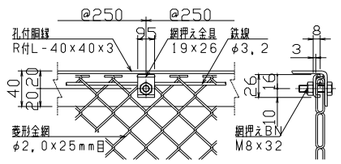
支柱定着部詳細 S=1:20



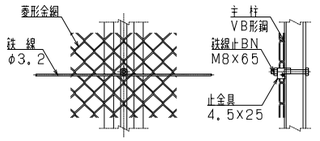
支柱・胴縁取付詳細



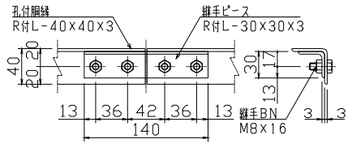
金網取付詳細



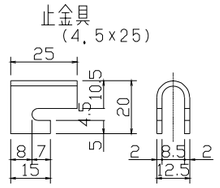
支柱・鉄線取付詳細



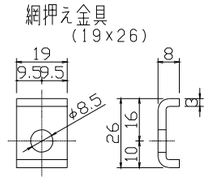
継手ピース取付詳細



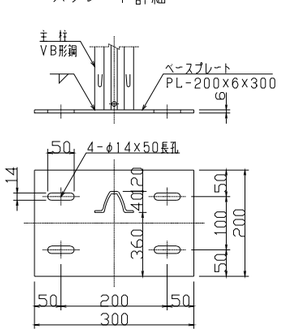
止金具 (4.5×25)



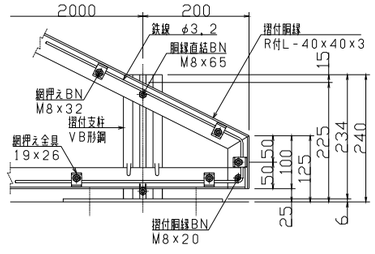
網押え金具 (19×26)



ベースプレート詳細



摺付端部詳細



摺付部　　1箇所(L=2.20m)

名称	形状寸法	単位	数量	単重kg	重量kg	適用
標準支柱	VB形鋼 L=1109	本	1	3.98	3.98	
摺付支柱	VB形鋼 L=234	本	1	0.84	0.84	
ベースプレート	PL-200*6*300	枚	2	2.83	5.66	
孔付胴縁	R付L-40*40*3	m	2.20	1.79	3.94	
摺付胴縁	R付L-40*40*3	m	2.53	1.79	4.53	0.25+2.18+0.1
止金具	4.5*25	個	4	0.016	0.06	
網押え金具	19*26	個	19	0.019	0.36	
胴縁BN	M8*100	組	3	0.048	0.14	
胴縁直結BN	M8*65	組	1	0.033	0.03	
鉄線止BN	M8*65	組	1	0.033	0.03	
網押えBN	M8*32	組	19	0.023	0.44	
摺付胴縁BN	M8*20	組	1	0.018	0.02	
アンカーボルト	M8*40	本	8	0.05	0.40	
菱形金網	φ2.0*25	m2	1.41	1.86	2.62	((1.075+0.1)/2)*1.95+(0.25*1.075)
鉄線	φ3.2	m	4.73	0.05	0.24	2.2+0.1+2.18+0.25
				合計	23.29	

標準部　　L=10.00m

名称	形状寸法	単位	数量	単重kg	重量kg	適用
標準支柱	VB形鋼 L=1109	本	4	3.98	15.92	
ベースプレート	PL-200*6*300	枚	4	2.83	11.32	
孔付胴縁	R付L-40*40*3	m	20.00	1.79	35.80	
継手ピース	R付L-30*30*3	個	6	0.183	1.10	
止金具	4.5*25	個	8	0.016	0.13	
網押え金具	19*26	個	80	0.019	1.52	(10.00/0.25)*2
胴縁BN	M8*100	組	8	0.048	0.38	
鉄線止BN	M8*65	組	4	0.033	0.13	
網押えBN	M8*32	組	80	0.023	1.84	
継手BN	M8*16	組	16	0.015	0.24	
アンカーボルト	M8*40	本	16	0.05	0.80	
菱形金網	φ2.0*25	m2	10.75	1.86	20.00	10.00*1.075
鉄線	φ3.2	m	30.00	0.05	1.50	
				合計	90.68	

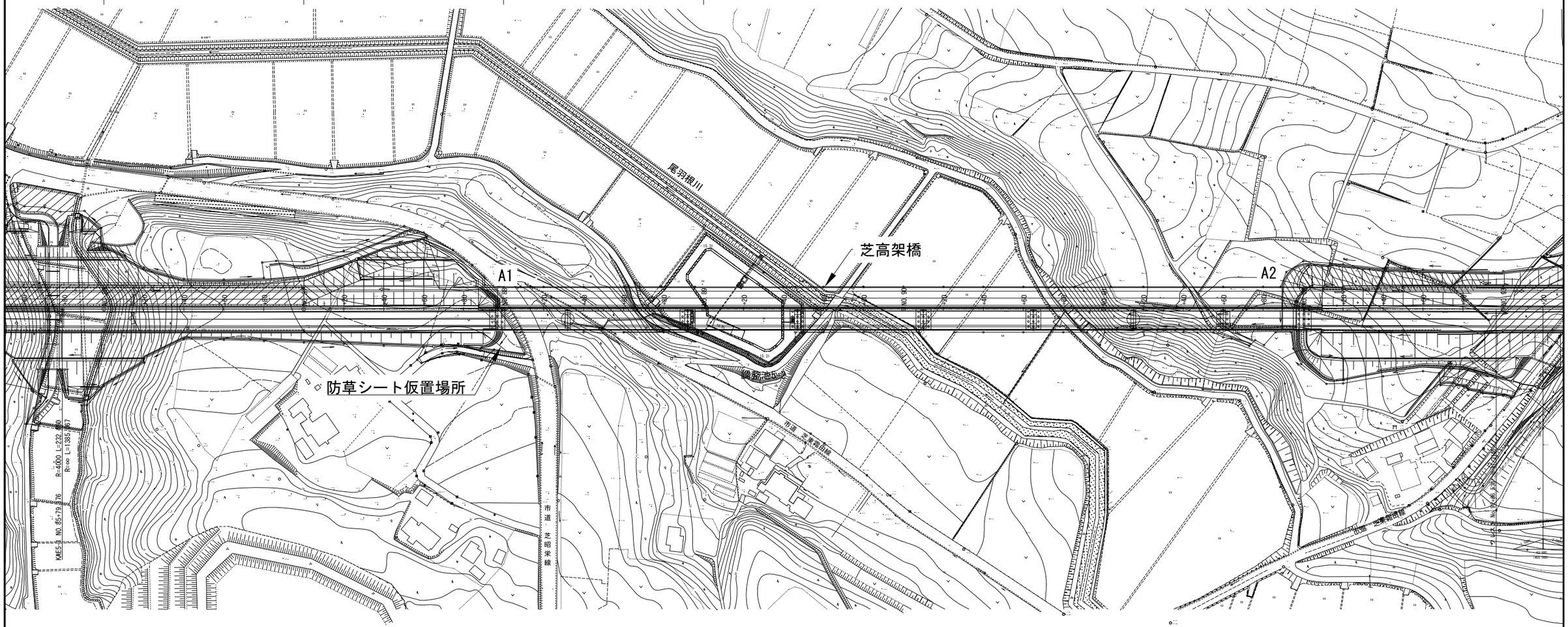
首都圏中央連絡自動車道 下総ＩＣ～大栄ＪＣＴ間遮音壁工事	
図面の種類	撤去工詳細図 落下物防止柵
縮尺	図示
図面番号	21／32
設計会社名	
施工会社名	
事務所名	東日本高速道路株式会社　関東支社 つくば工事事務所

復旧工 ・ 落下物防止柵平面図 S=1:2000

成田市芝

至　下総ＩＣ

至　大栄ＪＣＴ



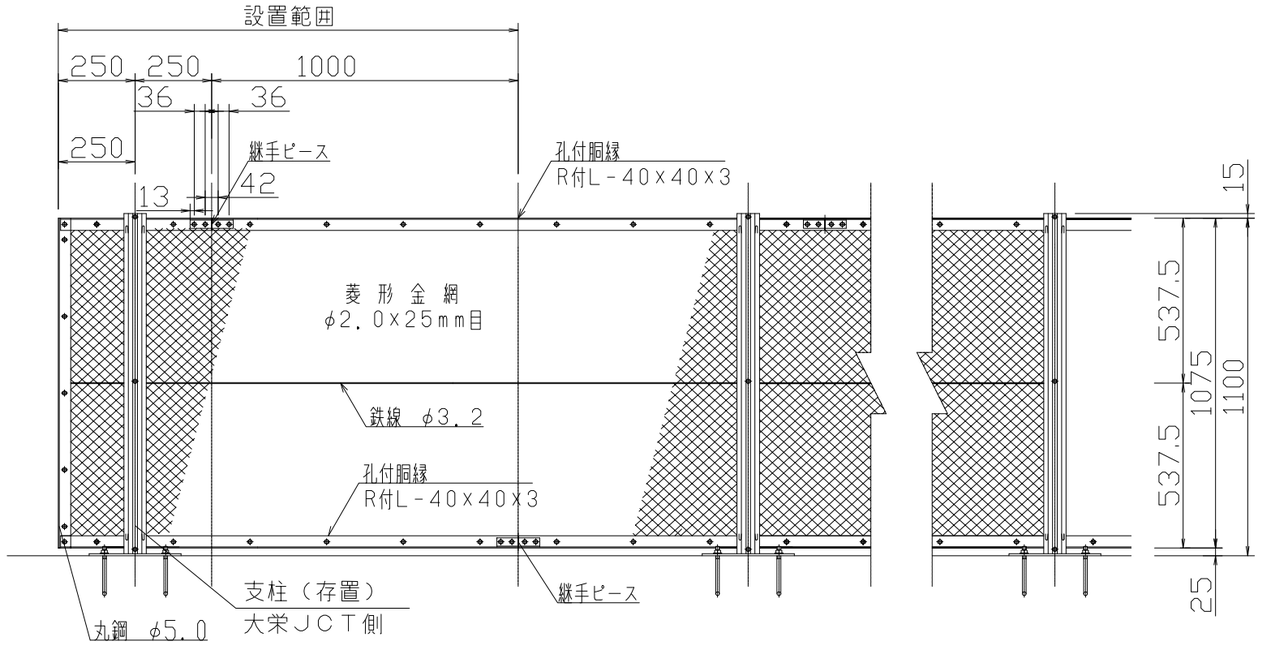
復旧工 防草シート A=336.0m2

落下物防止柵 G1-2 L=1.50m

首都圏中央連絡自動車道 下総ＩＣ～大栄ＪＣＴ間遮音壁工事			
図面の種類	復旧工 ・ 落下物防止柵平面図		
縮　尺	1:2000	図面番号	２２／３２
設計会社名			
施工会社名			
事務所名	東日本高速道路株式会社　関東支社 つ く ば 工 事 事 務 所		

落 下 物 防 止 柵 詳 細 図

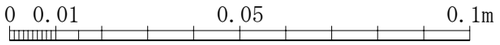
正 面 図 S=1:20



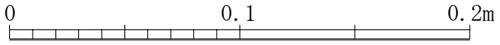
材料表

名称	形状寸法	単位	数量	単重kg	重量kg	適用
孔付胴縁	R付L-40*40*3	m	3.00	1.79	5.37	
縦胴縁	R付L-40*40*3	m	1.08	1.92	2.07	
継手ピース	R付L-30*30*3	個	2	0.183	0.37	
止金具	4.5*25	個	2	0.016	0.03	
網押え金具	19*26	個	17	0.019	0.32	
胴縁BN	M8*100	組	2	0.048	0.10	
鉄線止BN	M8*65	組	1	0.033	0.03	
網押えBN	M8*32	組	17	0.023	0.39	
縦胴縁BN	M8*20	組	4	0.018	0.07	
継手BN	M8*16	組	8	0.015	0.12	
菱形金網	φ2.0*25	m2	1.61	1.86	2.99	1.5*1.075
鉄線	φ3.2	m	4.50	0.05	0.23	
丸鋼	φ5.0 L=1065	本	1	0.14	0.14	
				合計	12.23	

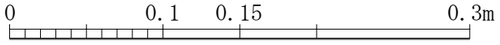
縮尺 1/1



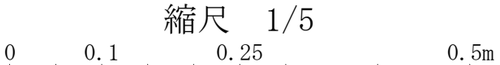
縮尺 1/2



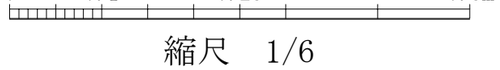
縮尺 1/3



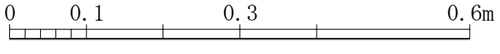
縮尺 1/5



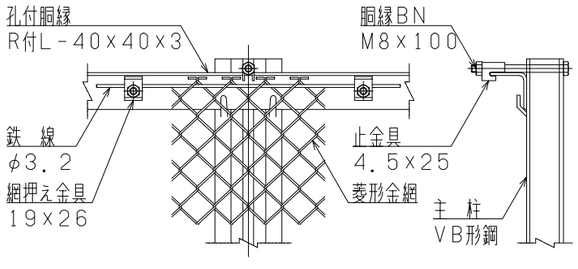
縮尺 1/6



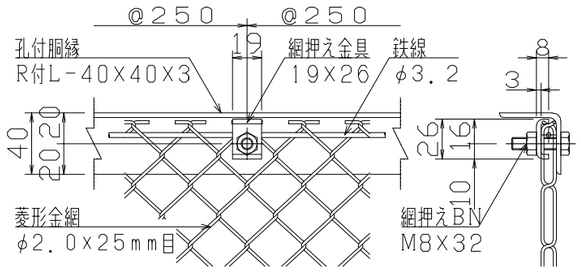
縮尺 1/15



支柱・胴縁取付詳細 S=1/5

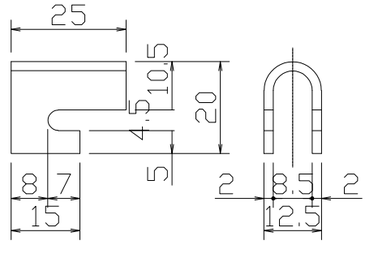


金網取付詳細 S=1/3

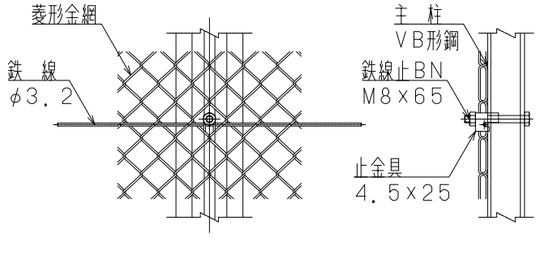


止金具 S=1/1

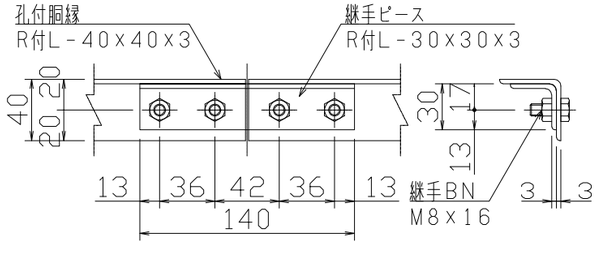
（4．5×25）



支柱・鉄線取付詳細 S=1/5

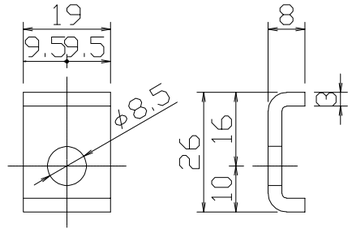


継手ピース取付詳細 S=1/3



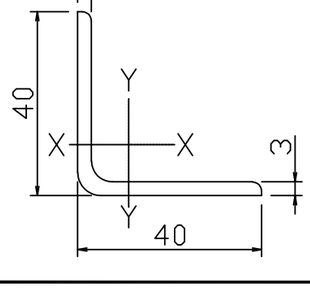
網押え金具 S=1/1

（19×26）



胴縁断面図 S=1/1

（R付L－40×40×3）

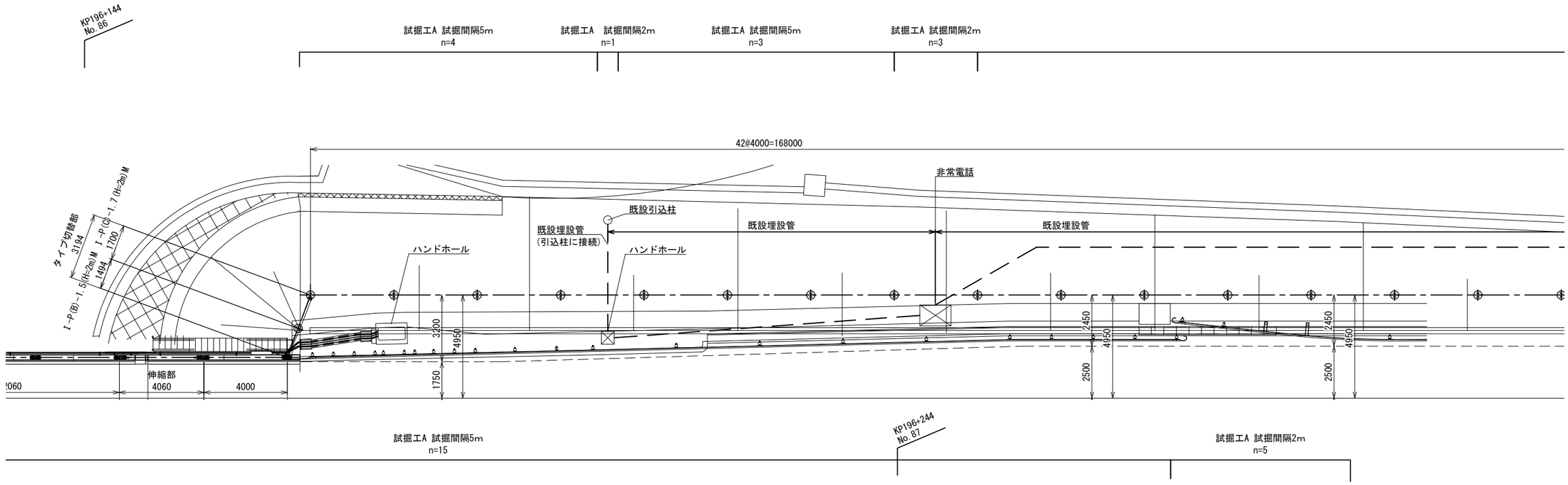


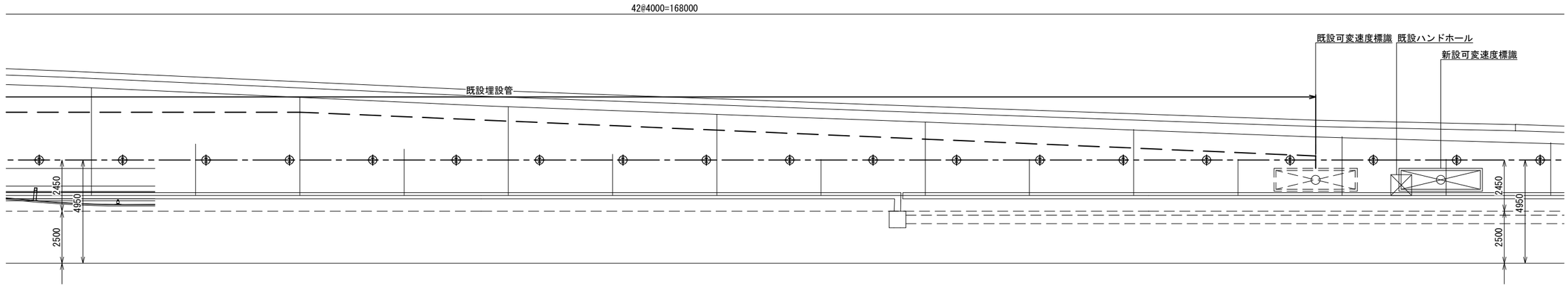
＝注記＝

1）落下物防止柵の材料及び防錆処理については「落下物防止柵標準図集 【材料及び防錆処理】」による。
2）設置にあたり、支柱（存置）から図に示す継手ピースまでの既設材の撤去を行う。
3）設置については、撤去した継手ピースから端部まで胴縁、金網、支線、金具等の取付を行う。
4）設置に使用する材料は、撤去材を再使用するものとする。

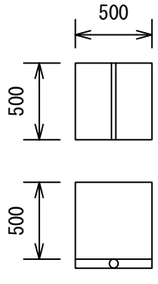
首都圏中央連絡自動車道 下総ＩＣ～大栄ＪＣＴ間遮音壁工事			
図面の種類	落下物防止柵詳細図		
縮 尺	図 示	図面番号	２３／３２
設計会社名			
施工会社名			
事務所名	東日本高速道路株式会社 関東支社 つ く ば 工 事 事 務 所		

試 掘 工 A 平 面 図　S=1：200





試掘工A　詳細図



首都圏中央連絡自動車道 下総ＩＣ～大栄ＪＣＴ間遮音壁工事			
図面種類	試 掘 工 A 平 面 図		
縮　尺	1:200	図面番号	２４／３２
設計会社名			
施工会社名			
事務所名	東日本高速道路株式会社　関東支社 つ く ば 工 事 事 務 所		

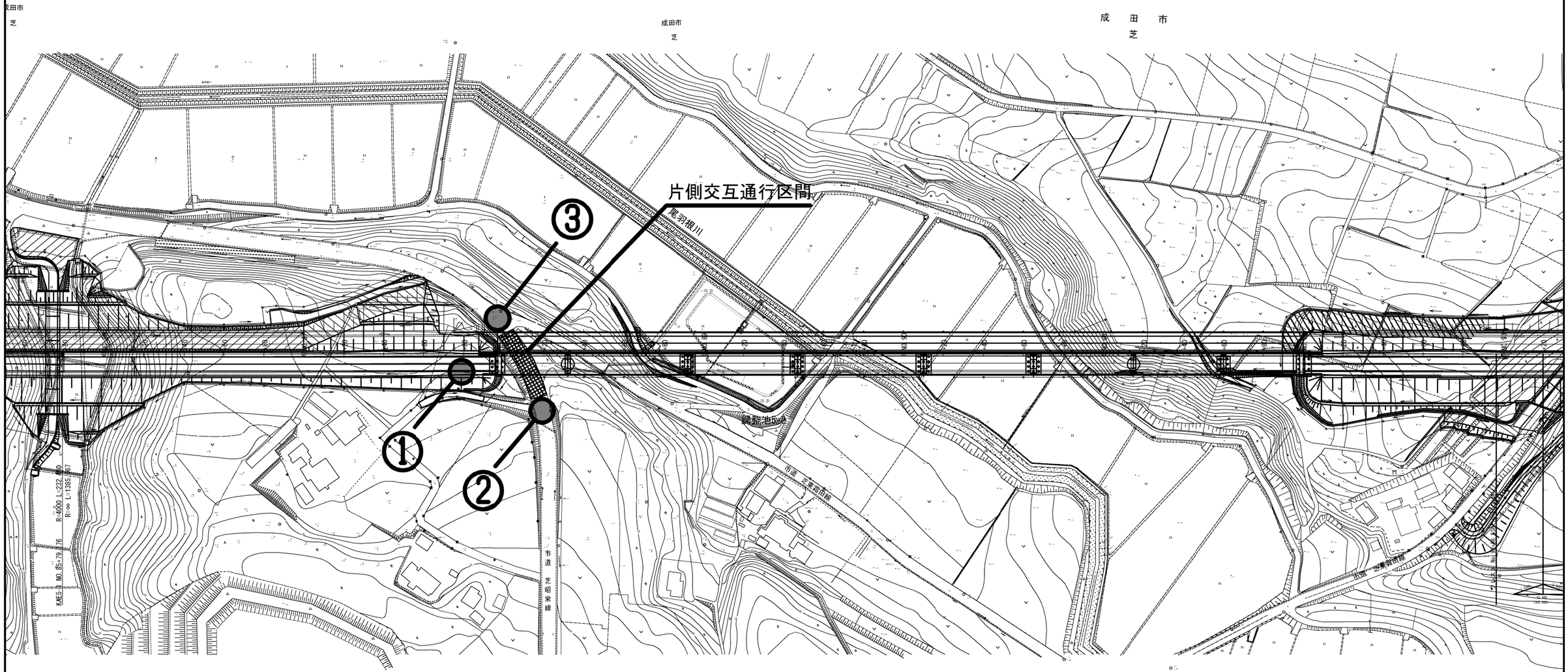
交通保安要員配置図

S=1/2000

成田市芝

至　下総ＩＣ

至　大栄ＪＣＴ



交通保安要員配置表

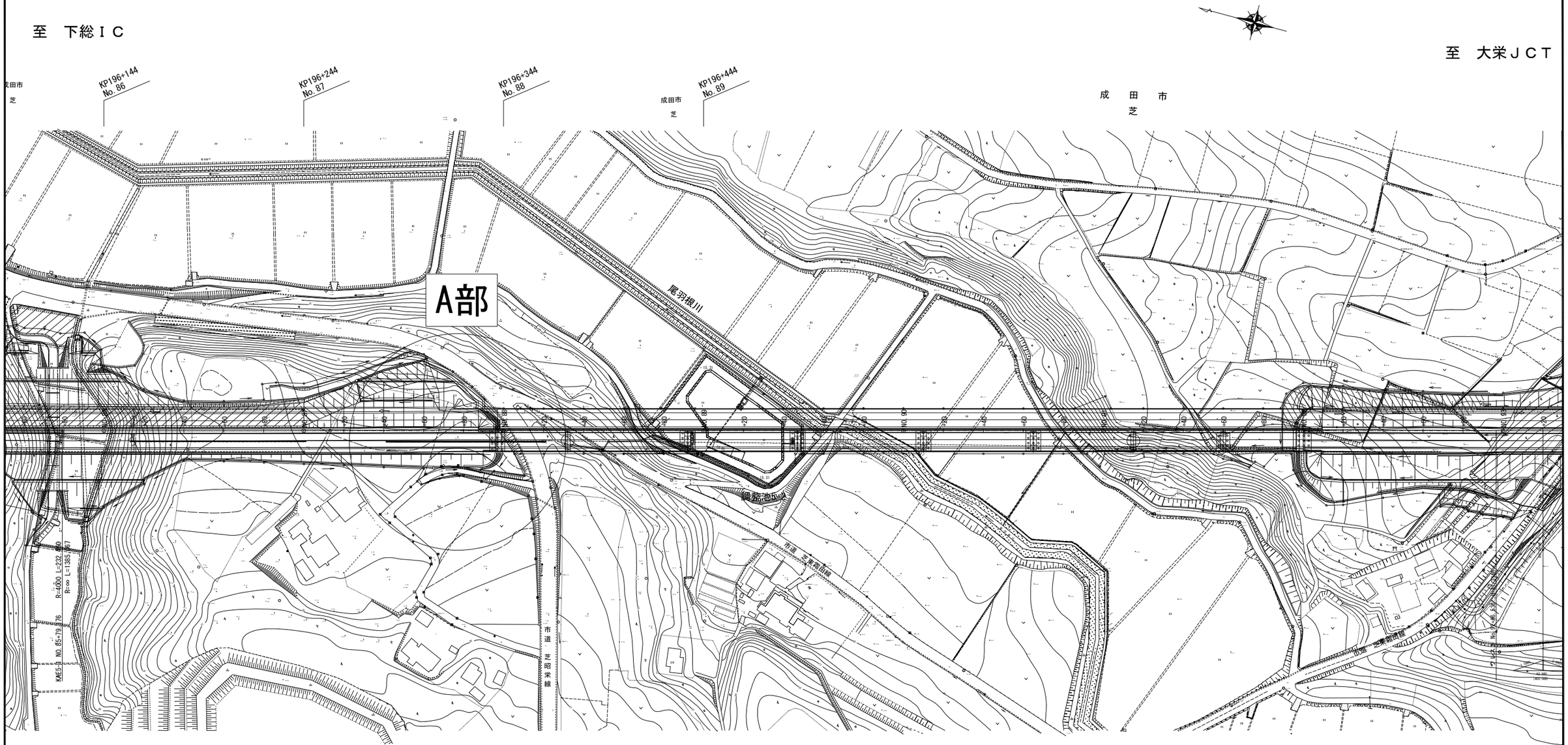
番号	交通保安要員の種別	配置場所
①	交通監視員A1	本線部　工事用車両出入口
②	交通誘導警備員B1	市道　芝昭栄線と一般道交差部
③	交通誘導警備員B1	市道　芝昭栄線と芝東霜田線交差部

首都圏中央連絡自動車道 下総ＩＣ～大栄ＪＣＴ間遮音壁工事			
図面の種類	交通保安要員配置図		
縮　尺	1:2000	図面番号	２５／３２
設計会社名			
施工会社名			
事務所名	東日本高速道路株式会社　関東支社 つくば工事事務所		

固定規制A、交通安全施設工A平面図　S=1:2000

至　下総ＩＣ

至　大栄ＪＣＴ



固定規制A・交通安全施設工A
L=88.0m

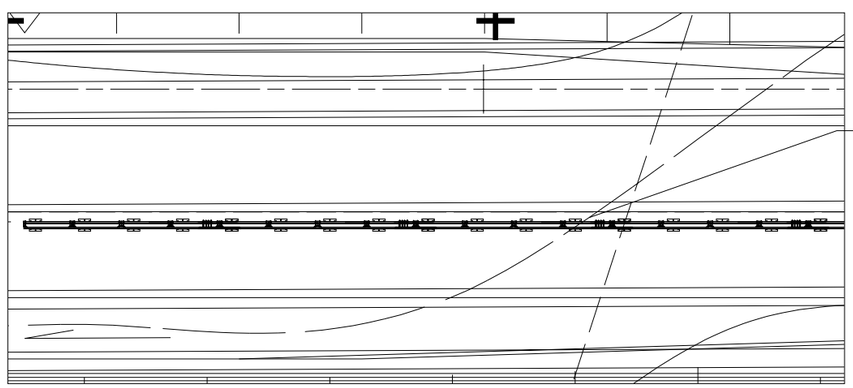
工事用出入口 L=40.0m

固定規制A・交通安全施設工A
L=80.0m

工事用出口　1箇所
工事看板　1枚

工事看板　1枚

A部拡大図　S=1:250

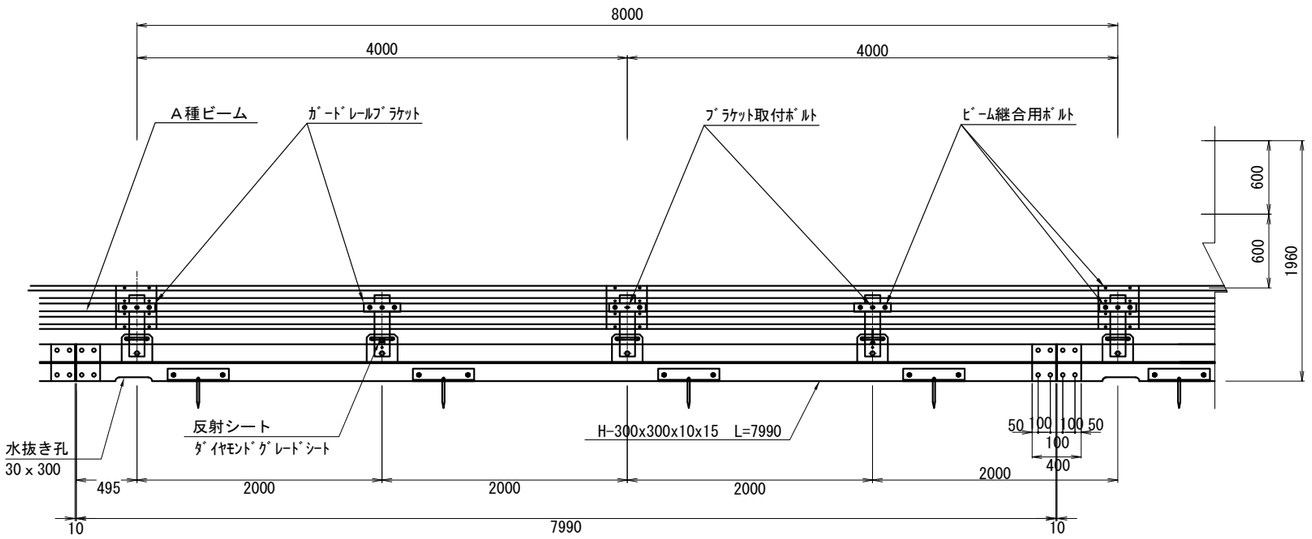


固定規制A(仮設防護柵)

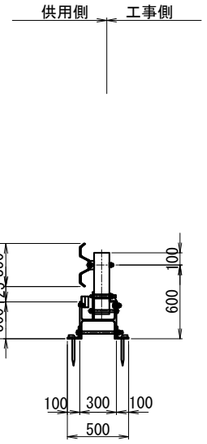
首都圏中央連絡自動車道 下総ＩＣ～大栄ＪＣＴ間遮音壁工事			
図面の種類	固定規制A、交通安全施設工A平面図		
縮　尺	図示	図面番号	２６／３２
設計会社名			
施工会社名			
事務所名	東日本高速道路株式会社　関東支社 つ　く　ば　工　事　事　務　所		

固 定 規 制 A 詳 細 図

側面図 S=1:20



断面図 S=1:20

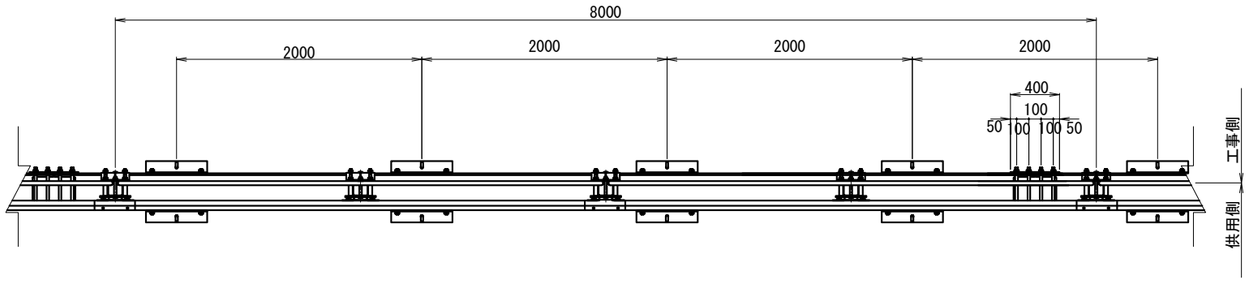


固定規制A （仮設防護柵）

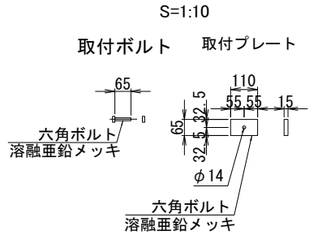
材料表 8m当り

名　　称	部　　材	数 量	単位	摘　要
ガードレール	Ｇｒ－A－２Ｂ	2	枚	
ガードレール支柱	□125x125xt4.5x500	4	本	
ガードレールブラケット	ｔ６ｘ７０ｘ３００	4	個	
ブラケット取付ボルト	M20x160	4	本	
ビーム継合用ボルト	M16x35	24	本	
Ｈ型鋼	H300x300x10x15x7990	1	本	
ジョイントプレート	t12x300x400	2	本	
ジョイント用ボルト	M20x360	8	本	
ポストベースプレート	t12x225x250	4	枚	
ポスト固定プレート	t6x230x125x57	4	枚	
ポスト固定ボルト	M20x190x160x190	4	本	
ポスト固定プレート取付ボルト	M20x50	8	本	
ポスト主軸ボルト	M20x220	4	本	
アンカー用アングル	t10x100x100x500	8	本	
アンカーピン	φ19x250x50	8	本	
反射シート		2	枚	
無収縮モルタル		0.1	m^3	舗装補修用

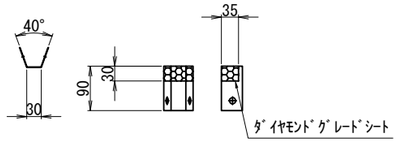
平面図 S=1:20



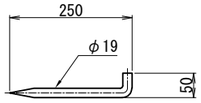
S=1:10



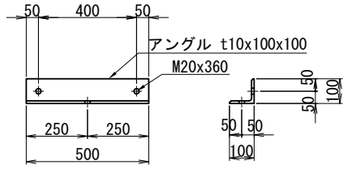
反射シート S=1:10



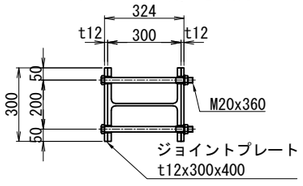
アンカーピン S=1:10



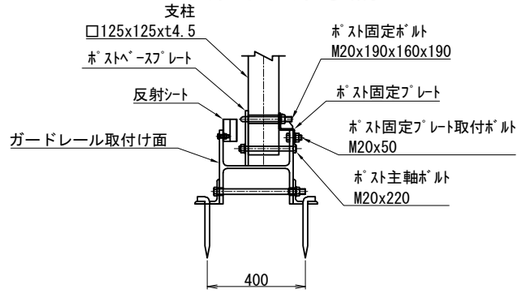
アンカー用アングル S=1:10



ジョイント部 S=1:10



支柱取付部 S=1:10

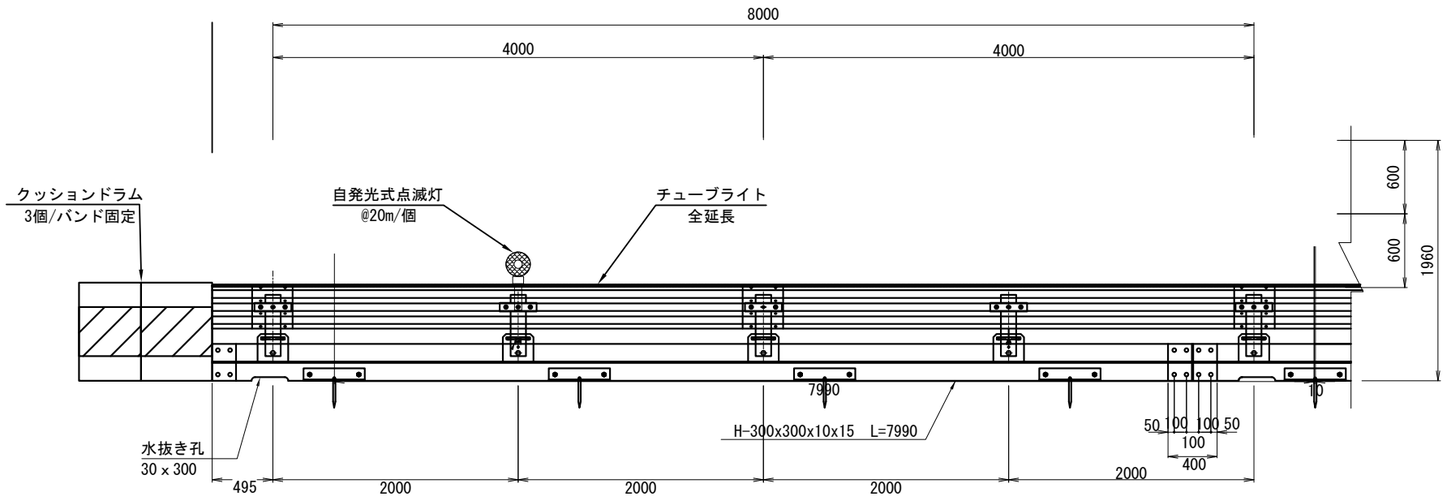


首都圏中央連絡自動車道 下総ＩＣ～大栄ＪＣＴ間遮音壁工事			
図面の種類	固 定 規 制 A 詳 細 図		
縮　尺	図 示	図面番号	２７／３２
設計会社名			
施工会社名			
事務所名	東日本高速道路株式会社　関東支社 つ く ば 工 事 事 務 所		

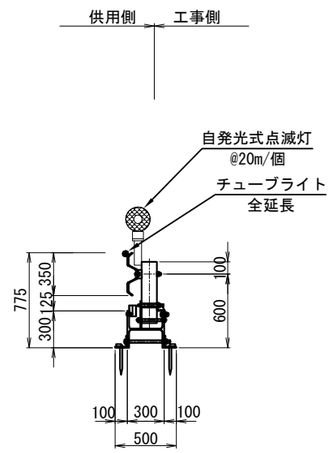
交 通 安 全 施 設 工 A 詳 細 図 S=1:20

仮設防護柵始点

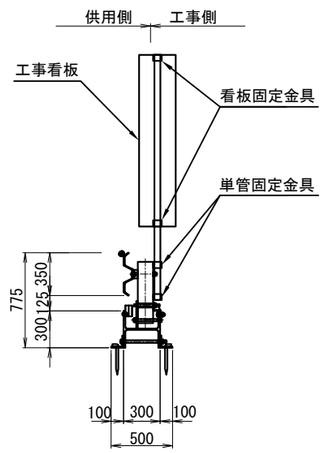
側面図 S=1:20



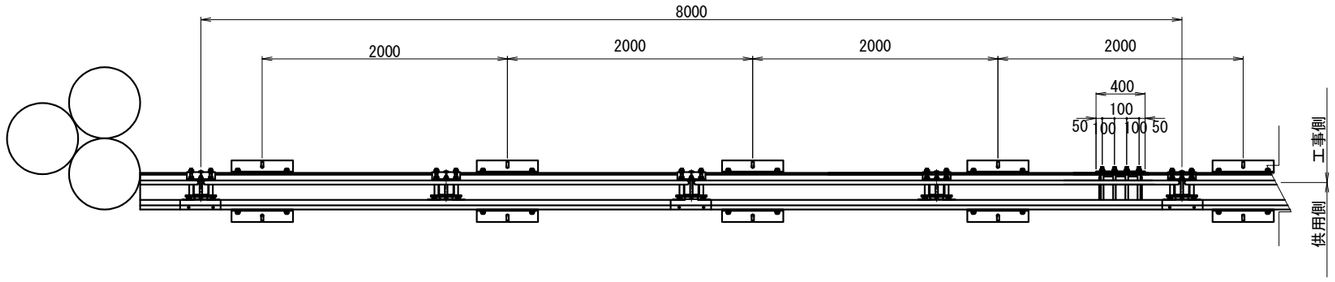
点滅灯設置図 S=1:20



工事看板設置図 S=1:20



平面図 S=1:20



交通安全施設工A

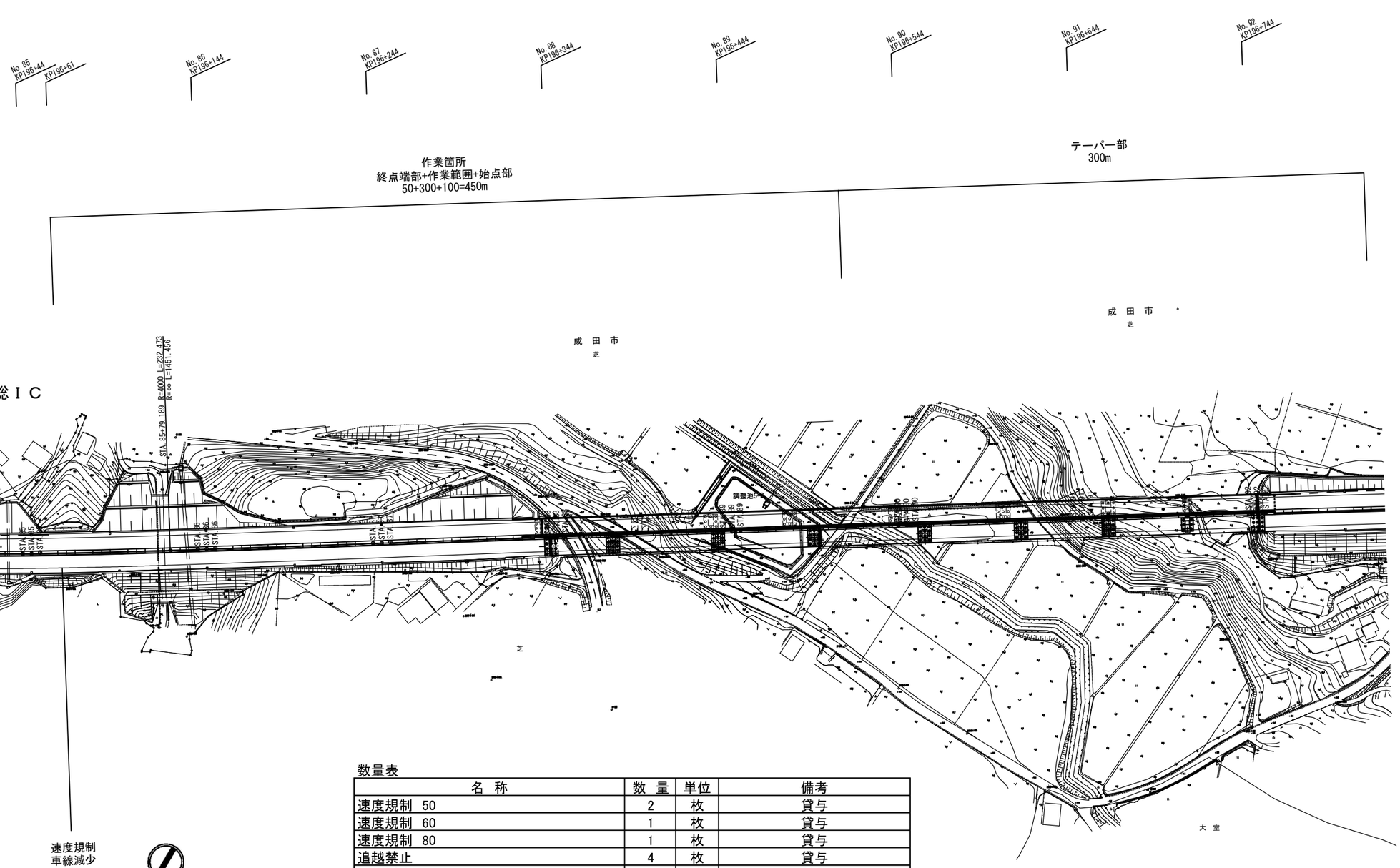
材料表

名　　称	部　　材	数 量	単位	摘　　要
チューブライト	10m/本	168	m	
ソーラーユニット		6	個	
自発光点滅灯	20m/個	12	個	20m/個+終点出口設置
G型ホルダー		12	個	
工事看板	高輝度　300*1400	2	枚	出入口設置
看板固定金具		4	個	
単管パイプ	L=2000	2	本	
単管固定金具		4	個	
クッションドラム		3	個	
クッションドラム固定バンド		1	組	

首都圏中央連絡自動車道 下総ＩＣ～大栄ＪＣＴ間遮音壁工事			
図面の種類	交 通 安 全 施 設 工 A 詳 細 図		
縮　尺	1:20	図面番号	２８／３２
設計会社名			
施工会社名			
事務所名	東日本高速道路株式会社　関東支社 つ く ば 工 事 事 務 所		

規制標識設置平面図（１）

S=1:2500



速度規制
車線減少
終了



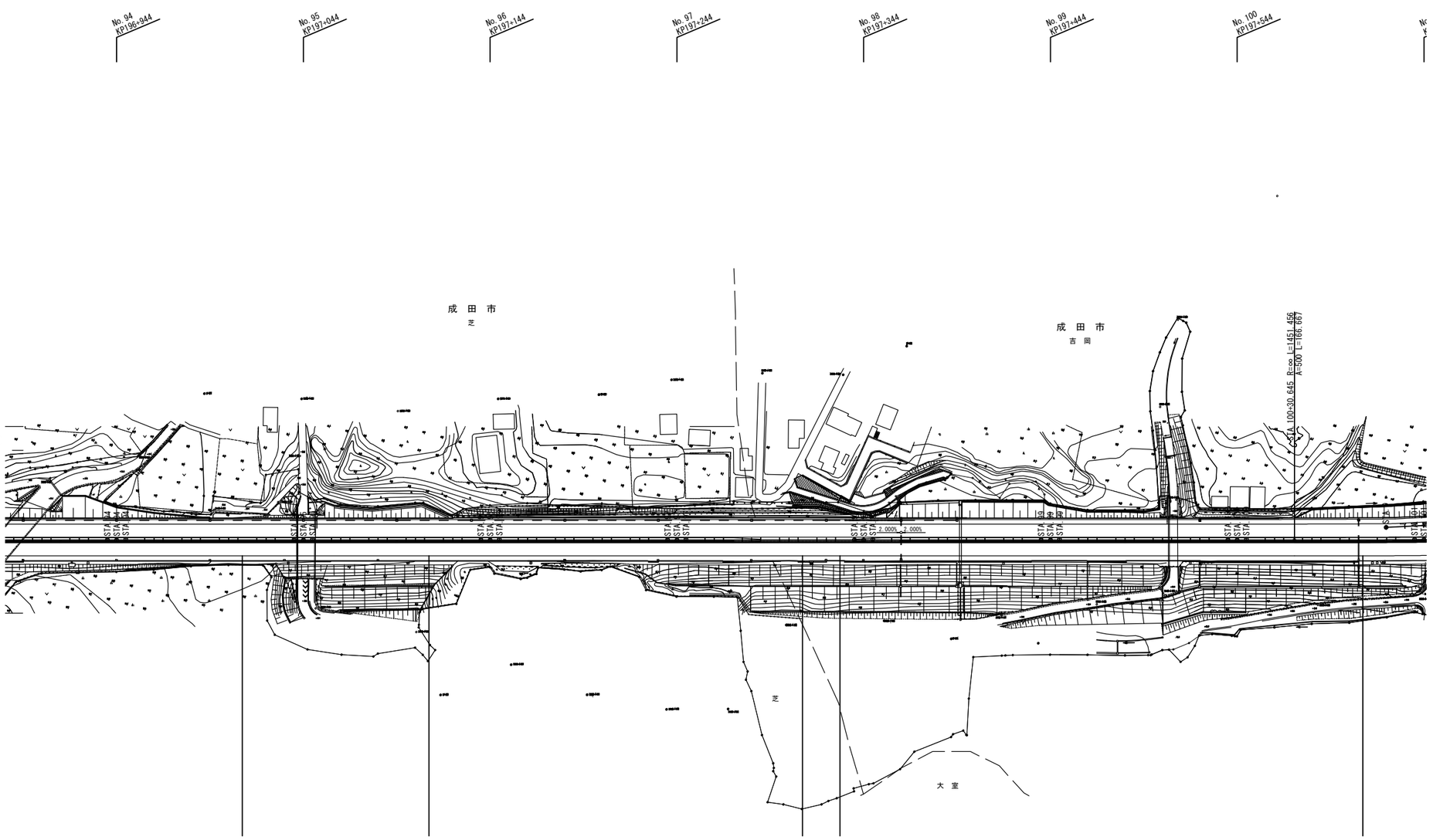
数量表

名　称	数　量	単位	備考
速度規制　50	2	枚	貸与
速度規制　60	1	枚	貸与
速度規制　80	1	枚	貸与
追越禁止	4	枚	貸与
車線減少	2	枚	貸与
工事予告	7	枚	貸与
ラバーコーン	12	本	貸与
矢印板	7	枚	貸与・交通規制図による
ラバーコーン	35	本	貸与・交通規制図による
自発光式デリニエーター	12	個	貸与・交通規制図による
標識車	1	台	貸与・交通規制図による
ロボット誘導員	1	台	貸与・交通規制図による
回転灯（自動点滅灯）	1	基	貸与・交通規制図による
発炎筒（5分用） ※1車線規制時（設置3本、撤去3本）	6	本	受注者持
用心棒	3	本	貸与・交通規制図による
交通監視員	4	人	規制保守・交通規制図による

首都圏中央連絡自動車道 下総ＩＣ～大栄ＪＣＴ間遮音壁工事			
図面の種類	規制標識設置平面図（１）		
縮　尺	1:2500	図面番号	２９／３２
設計会社名			
施工会社名			
事務所名	東日本高速道路株式会社　関東支社 つ　く　ば　工　事　事　務　所		

規制標識設置平面図（２）

S=1:2500



速度規制　50
追越禁止

車線減少
300m先

工事中
500m先

速度規制　60
追越禁止

車線減少
右によれ











首都圏中央連絡自動車道 下総ＩＣ～大栄ＪＣＴ間遮音壁工事			
図面の種類	規制標識設置平面図（２）		
縮　尺	1:2500	図面番号	３０／３２
設計会社名			
施工会社名			
事務所名	東日本高速道路株式会社　関東支社 つ　く　ば　工　事　事　務　所		

規制標識設置平面図（３）

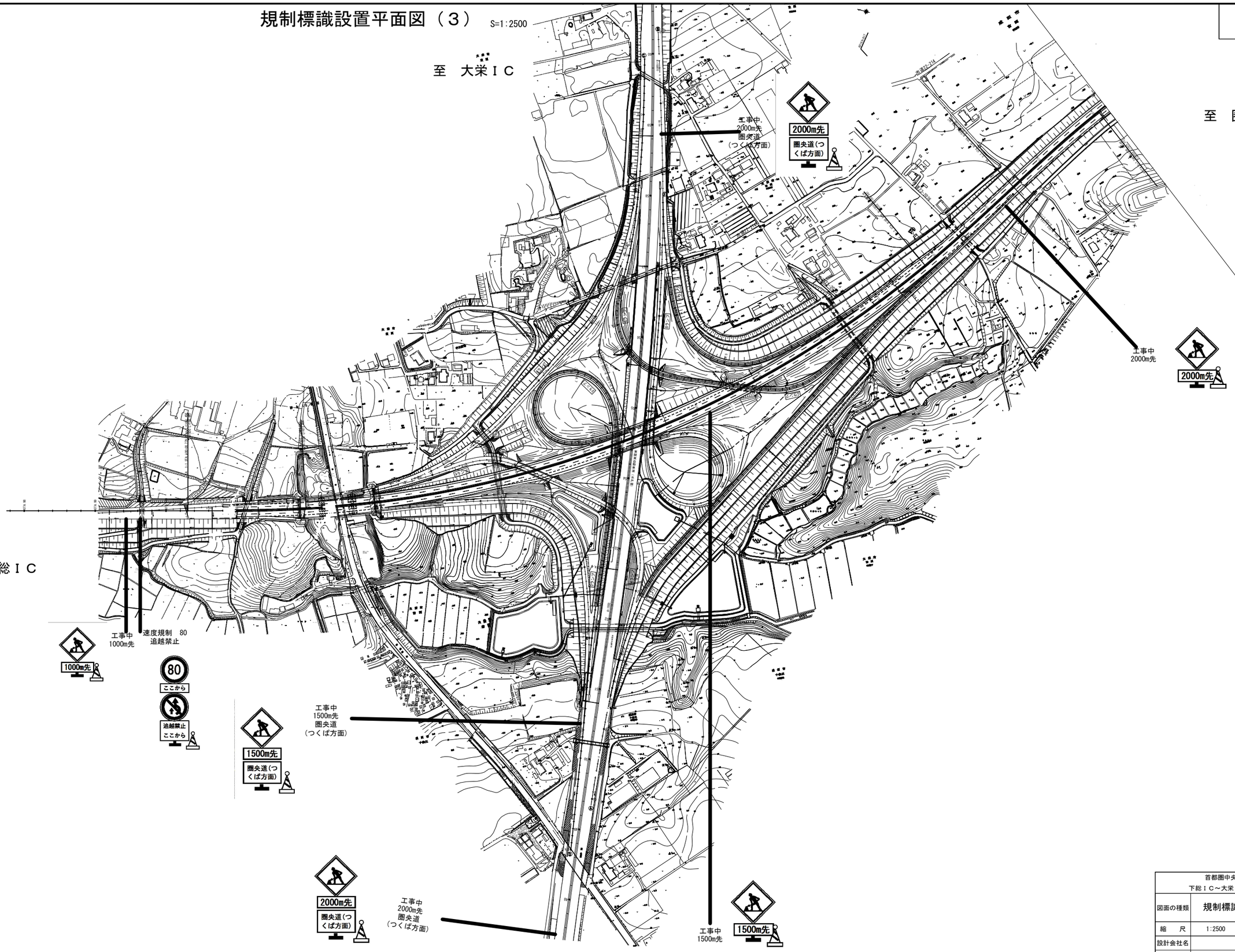
S=1:2500

至　大栄ＩＣ

至　圏央成田ＩＣ

至　下総ＩＣ

至　成田ＩＣ

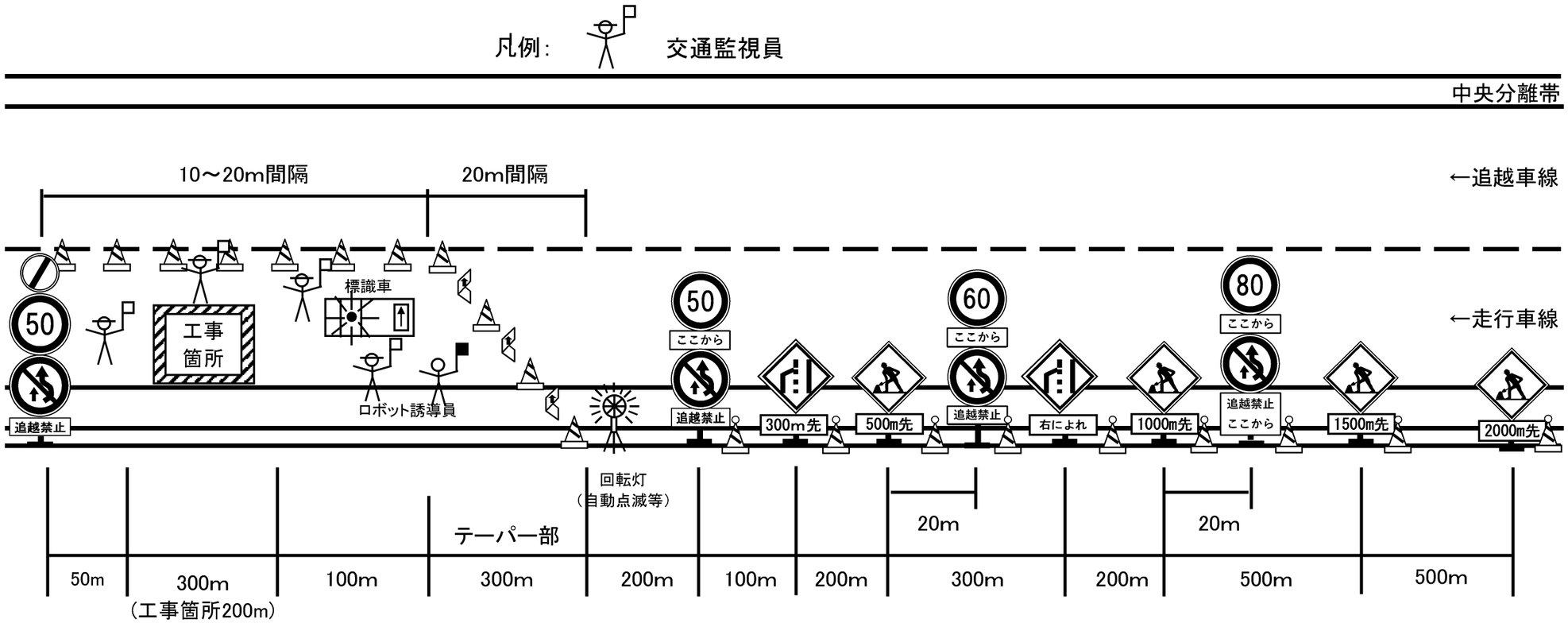


首都圏中央連絡自動車道 下総ＩＣ～大栄ＪＣＴ間遮音壁工事			
図面の種類	規制標識設置平面図（３）		
縮　尺	1:2500	図面番号	３１／３２
設計会社名			
施工会社名			
事務所名	東日本高速道路株式会社　関東支社 つ　く　ば　工　事　事　務　所		

交 通 規 制 図

車線規制：走行一車線規制（本線二車線100km/h区間）

※　図に示す矢印板及びラバーコーンは設置のイメージを表すもので、
実際の使用数量は数量表を参照



回転灯もしくは自動点滅は昼夜ともに黄色とする。
路肩の各規制標識には、ラバーコーン+自発光を設置する

他責事故防止のための取り組みを下記のとおり示す。
１．テーパー部に設置する矢印板は、すべて高輝度反射式又は自発光式とする。
２．危険車両が接近したときに規制内の作業員等へ警告するための警報付き安全旗、
　　大音量電子ホイッスル、可搬式センサネットワーク、遠隔操作式サイレン等の警報装置を使用する
３．工事（作業）箇所付近では、ラバーコーンの設置間隔を10m、ラバーコーンに保安（警告）灯を設置するなどして一般車両への注意喚起を図る。
４．工事（作業）箇所手前に進入車両強制停止装置又は防護車両を設置する。

車線規制A
数量表　　1回あたり

名　称	数　量	単位	備考
予告標識	13	基	貸与
矢印板	7	枚	貸与
ラバーコーン	47	本	貸与
自発光式デリニエーター	12	個	貸与
標識車	1	台	貸与
ロボット誘導員	1	台	貸与
回転灯（自動点滅灯）	1	基	貸与
発炎筒（5分用） ※1車線規制時（設置3本、撤去3本）	6	本	受注者持
用心棒	3	本	貸与
交通監視員	4	人	規制保守

首都圏中央連絡自動車道 下総ＩＣ～大栄ＪＣＴ間遮音壁工事			
図面の種類	交 通 規 制 図		
縮　尺	—	図面番号	３２／３２
設計会社名			
施工会社名			
事務所名	東日本高速道路株式会社　関東支社 つ く ば 工 事 事 務 所		